

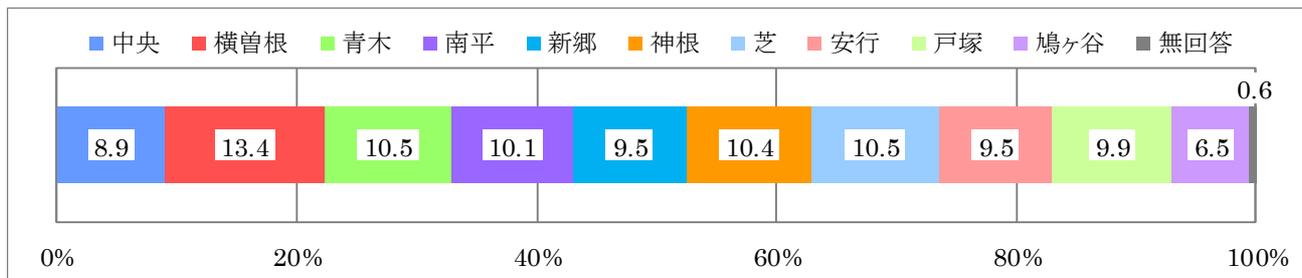
第2章 市民

1 属性項目

質問1 居住地

回答者の居住地は以下のようになります。

●居住地(計 1,017)

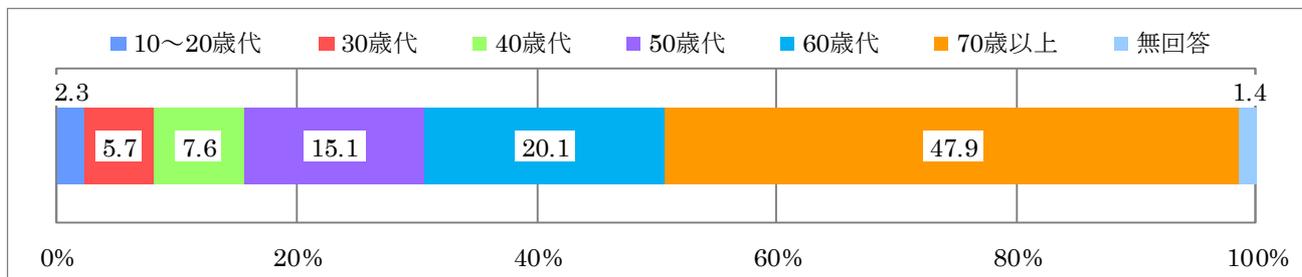


質問2 年齢

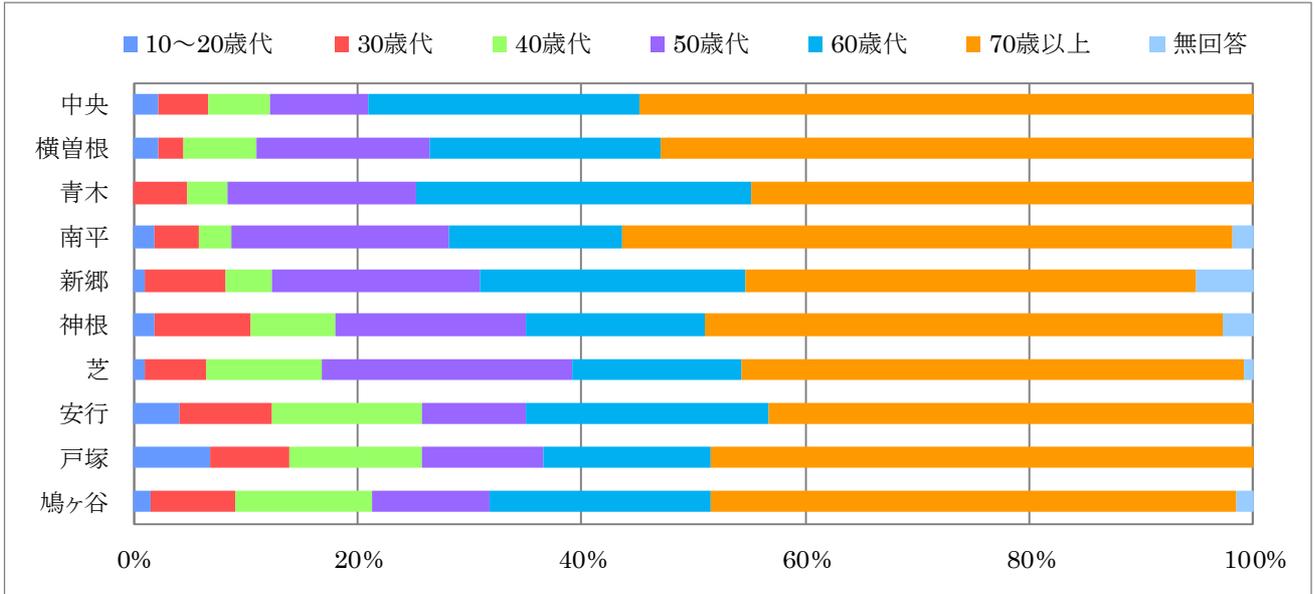
回答者の年齢は「70歳以上」が47.9%で多くなっています。一方、「10～20歳代」は2.3%で少なくなっています。

地域別にみると、青木で「60歳代」が多く、芝で「50歳代」が多くなっています。(次頁図)

●年齢(計 1,017)



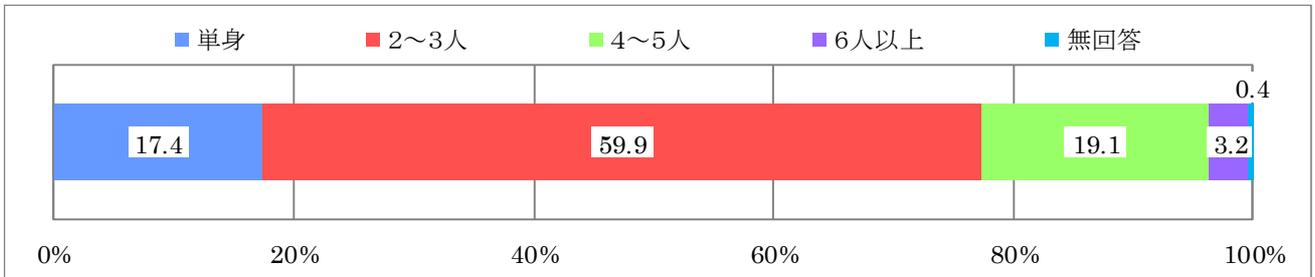
●年齢(地域別)



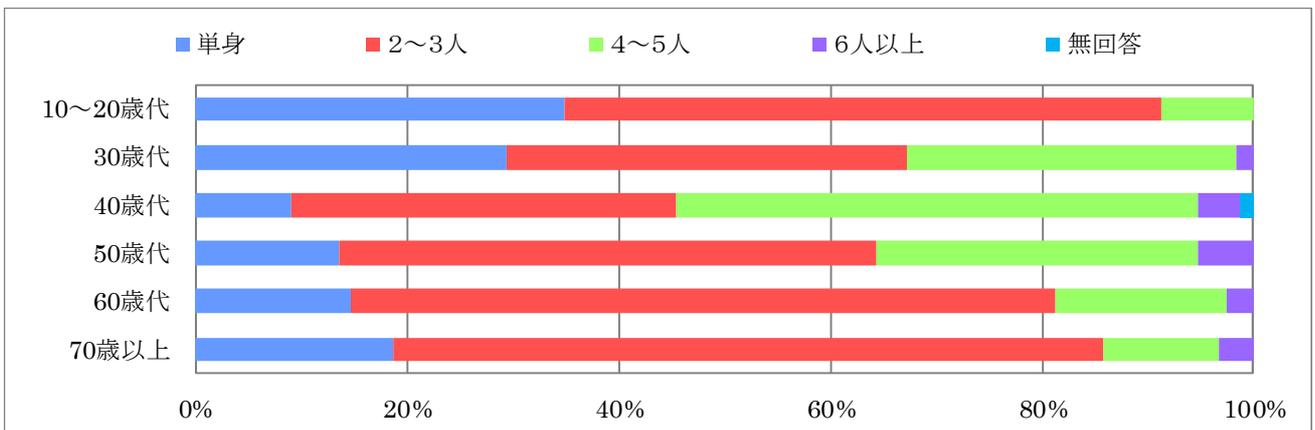
質問3 同居人数

回答者の同居人数は「2~3人」が59.9%で最も多く、次いで「4~5人」が19.1%となっています。年齢別にみると、「単身」は10~20歳代、30歳代、「2~3人」は10~20歳代、60歳代、70歳以上、「4~5人」は40歳代で多くなっています。

●同居人数(計1,017)



●同居人数(年齢別)

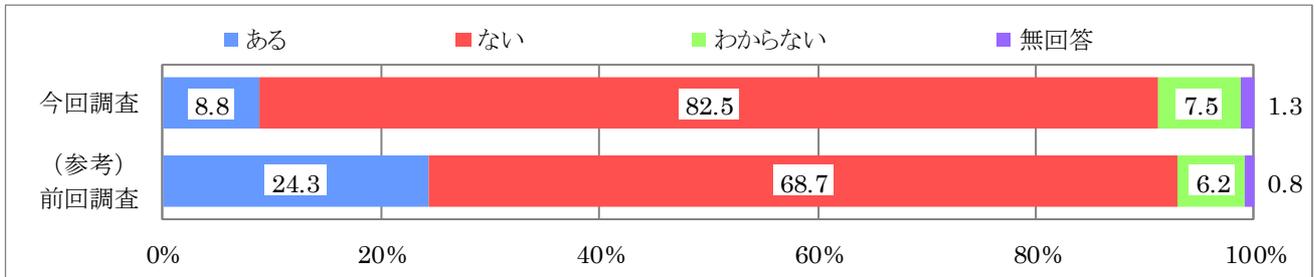


質問4 貯水槽（高置水槽・受水槽など）の有無

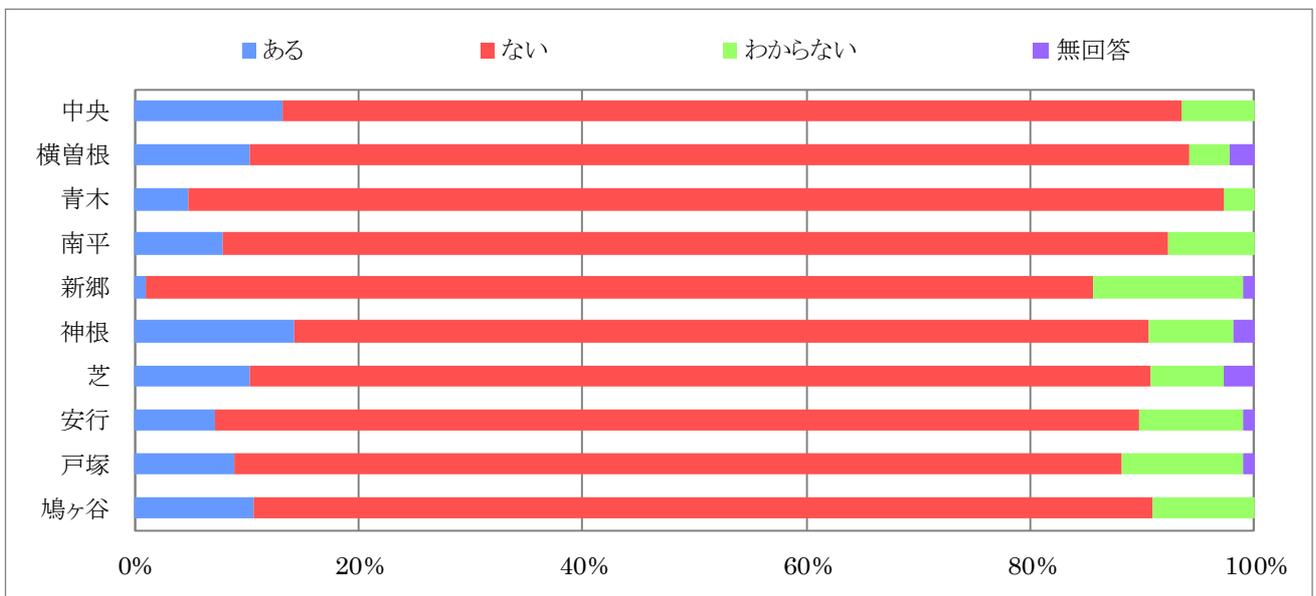
貯水槽が「ない」が82.5%と大半を占めています。「ある」は8.8%と前回調査の24.3%から15.5ポイント減少しています。

地域別にみると、貯水槽が「ある」は神根、中央で多くなっています。

●貯水槽（高置水槽・受水槽など）の有無（計 1,017）



●貯水槽（高置水槽・受水槽など）の有無（地域別）



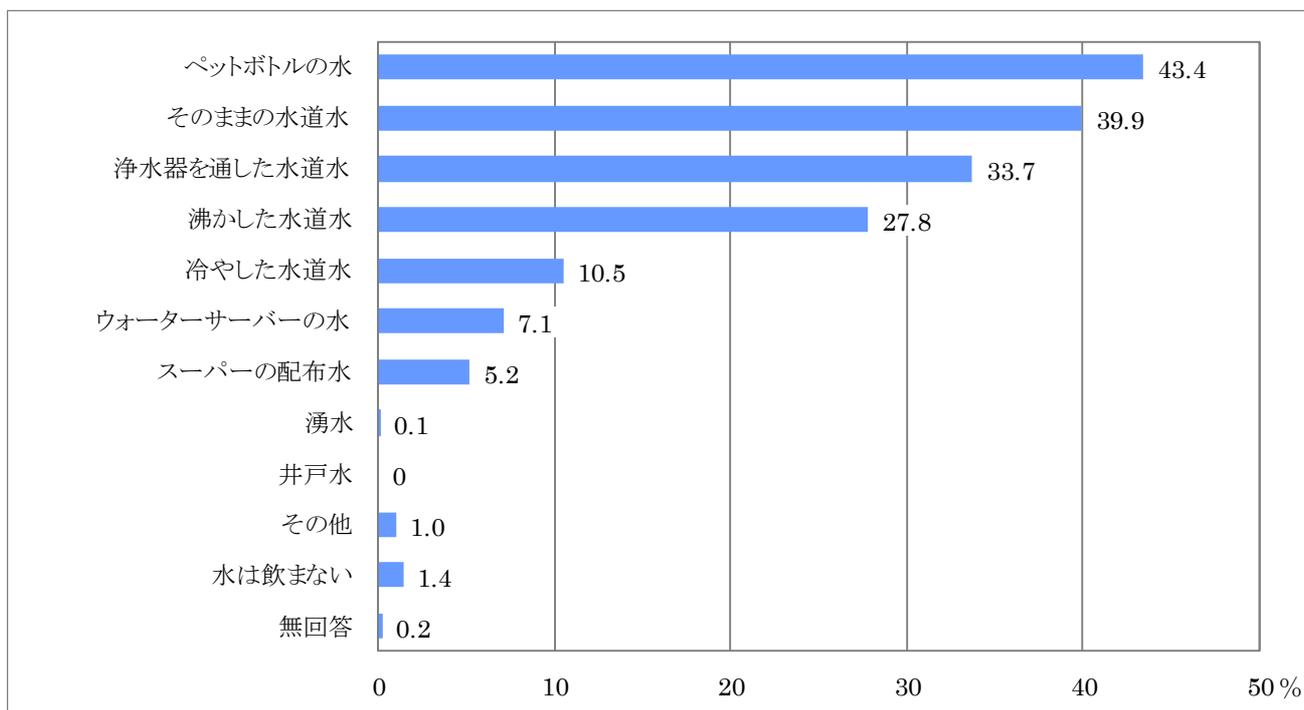
2 水道水について

質問5 普段の飲料水

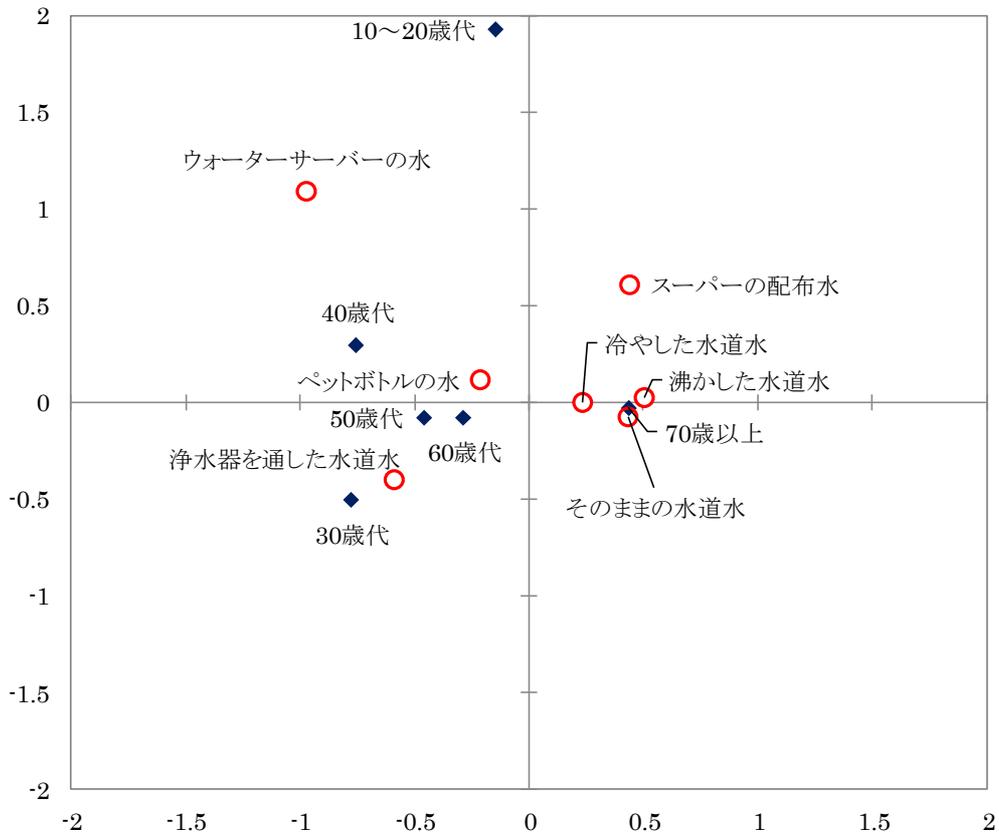
普段飲んでいる飲料水は、「ペットボトルの水」が43.4%で最も多く、次いで「そのままの水道水」(39.9%)、「浄水器を通した水道水」(33.7%)、「沸かした水道水」(27.8%)となっています。

年齢との関係性(コレスポンデンス分析)をみると、「そのままの水道水」、「沸かした水道水」は70歳以上で多く、「浄水器を通した水道水」は30歳代で多くなっています。

● 普段の飲料水(計 1,017)



● 普段の飲料水(年齢別・コレスポンデンス分析)



* 「井戸水」、「湧水」はサンプル数が少ないため除いています。

【コレスポンデンス分析】

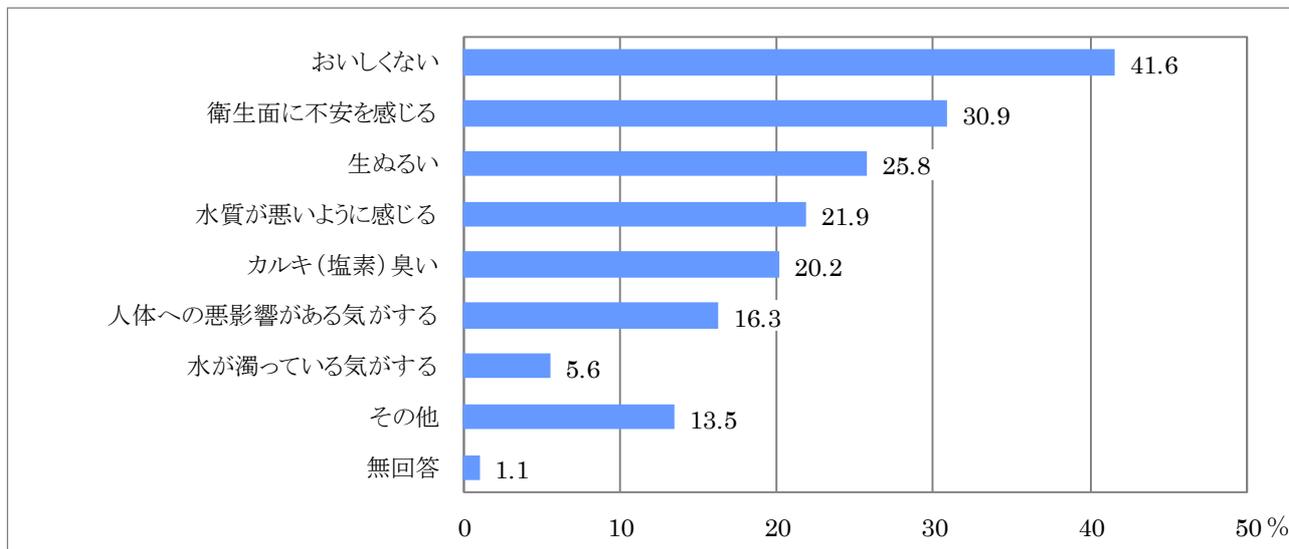
コレスポンデンス分析とは、複数の変数間の類似度や関係性を調べる手法で、結果を散布図にしています。散布図上で近くにある項目は、類似度や関連性が高いことを示しています。

質問5-1 水道水を飲まない理由

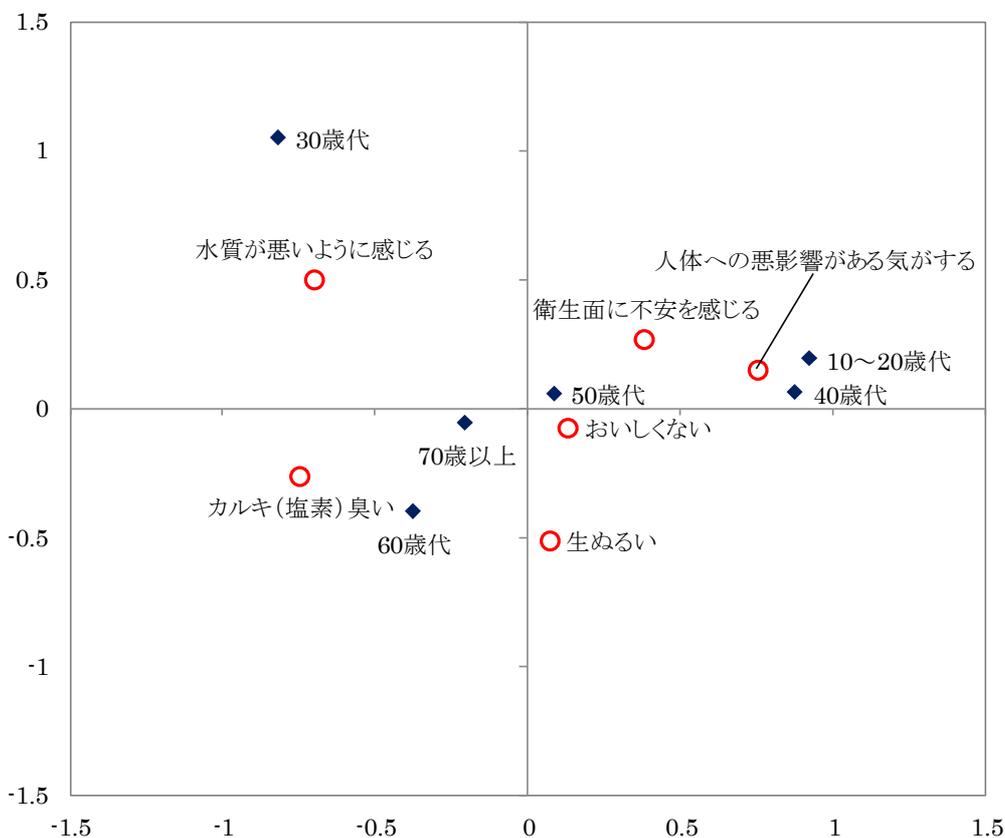
質問5で水道水を飲まないと回答した方の理由は、「おいしくない」が41.6%で最も多く、次いで「衛生面に不安を感じる」(30.9%)、「生ぬるい」(25.8%)、「水質が悪いように感じる」(21.9%)、「カルキ(塩素)臭い」(20.2%)となっています。

年齢別にみると、「水質が悪いように感じる」は30歳代、「人体への悪影響がある気がする」は10～20歳代、40歳代で多くなっています。

●水道水を飲まない理由(計178)



●水道水を飲まない理由(年齢別・コレスポネンス分析)



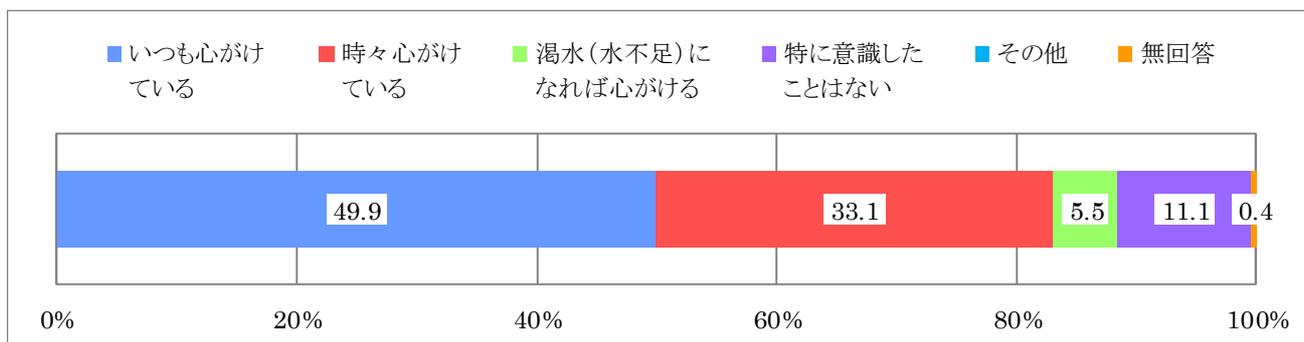
3 節水について

質問6 節水の心がけ

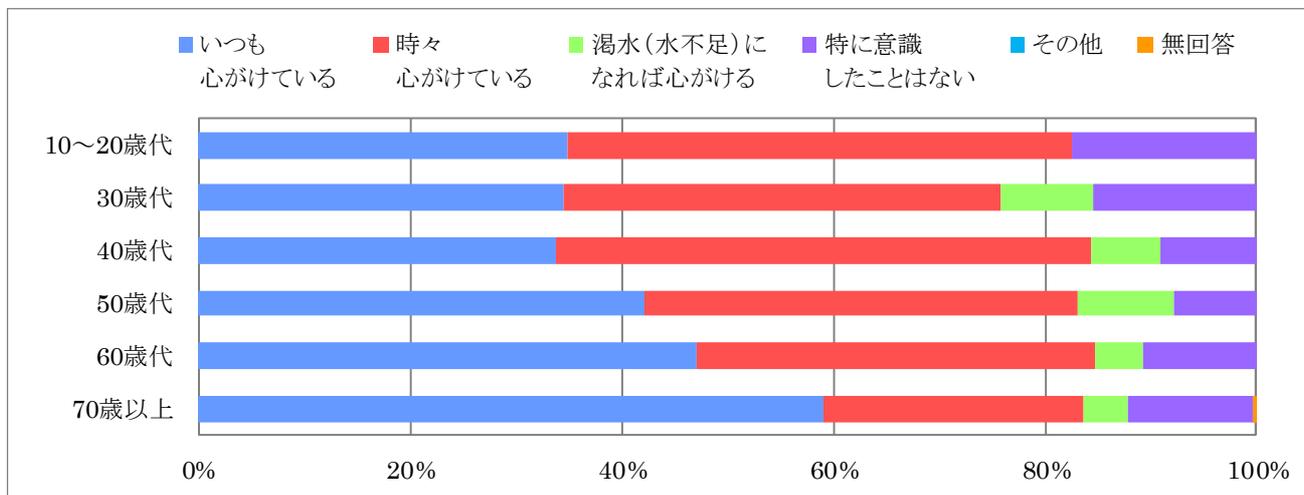
日頃の節水の心がけは、「心がけている」を含む回答（「いつも心がけている」＋「時々心がけている」）が83.0%と大半を占めています。

年齢別にみると、「いつも心がけている」は60歳代、70歳以上で多く、「時々心がけている」が10～20歳代、40歳代で多くなっています。

●節水の心がけ(計 1,017)



●節水の心がけ(年齢別)

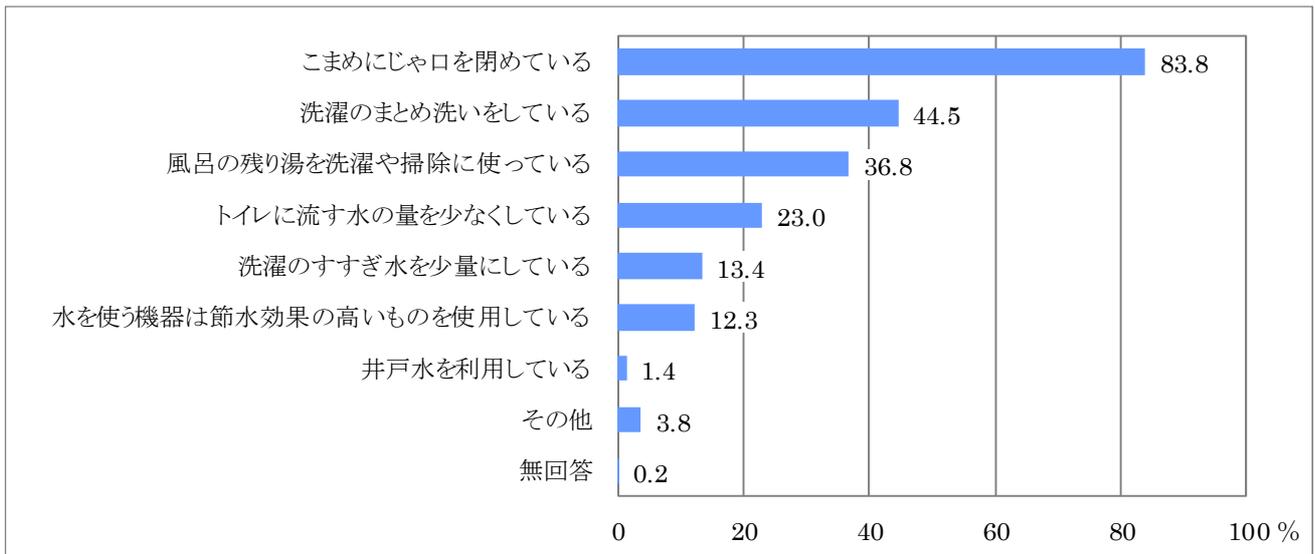


質問6-1 節水の方法

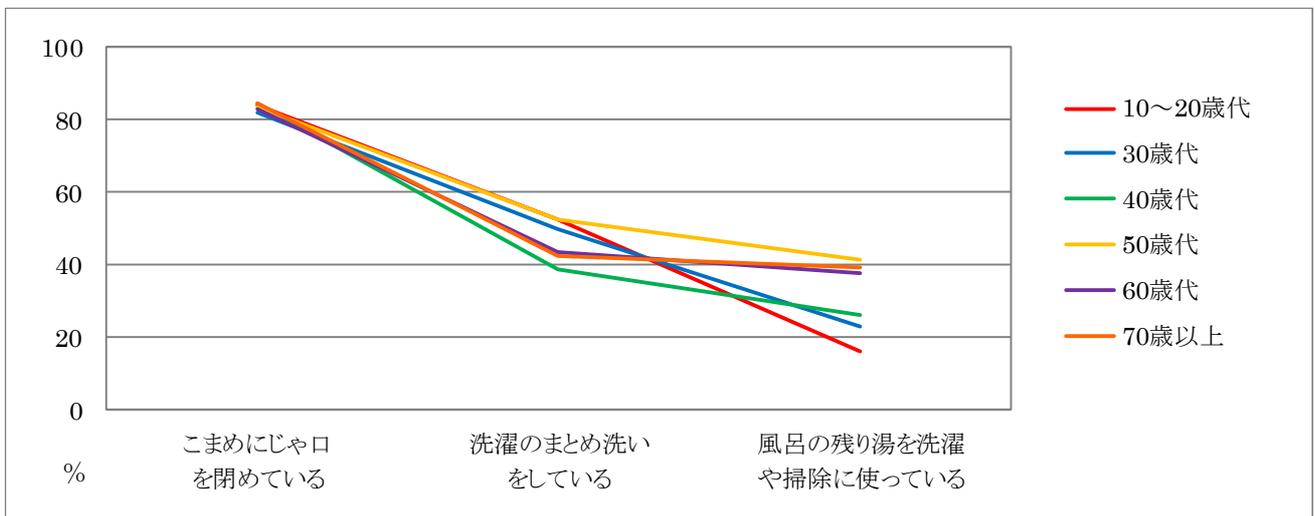
質問6で節水を「心がけている」と回答した方の節水方法は、「こまめにじゃ口を閉めている」が83.8%で最も多く、次いで「洗濯のまとめ洗いをしている」(44.5%)、「風呂の残り湯を洗濯や掃除に使っている」(36.8%)、「トイレに流す水の量を少なくしている」(23.0%)となっています。

年齢別にみると、「洗濯のまとめ洗いをしている」は10～20歳代、30歳代、50歳代で多く、「風呂の残り湯を洗濯や掃除に使っている」は50歳代、60歳代、70歳以上で多くなっています。

●節水の方法(計844)



●節水の方法(年齢別、主要3項目)

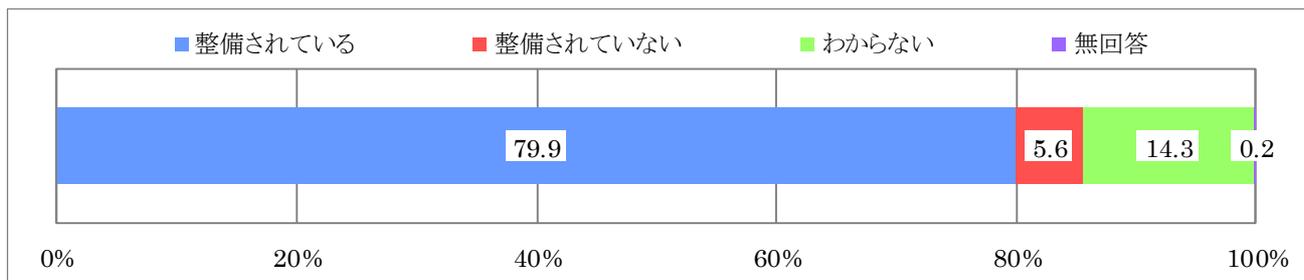


4 公共下水道について

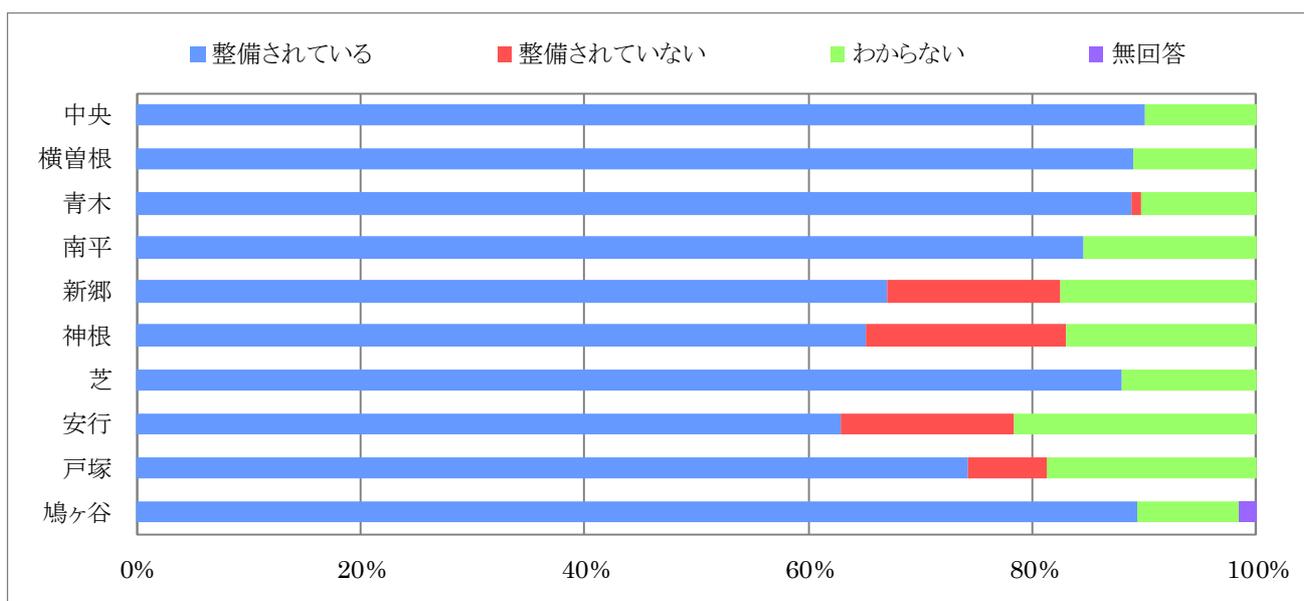
質問7 公共下水道の整備

居住地域における公共下水道の整備状況は、「整備されている」が79.9%と大半を占めています。地域別にみると、「整備されていない」は新郷、神根、安行で多くなっています。

● 公共下水道の整備(計 1,017)



● 公共下水道の整備(地域別)

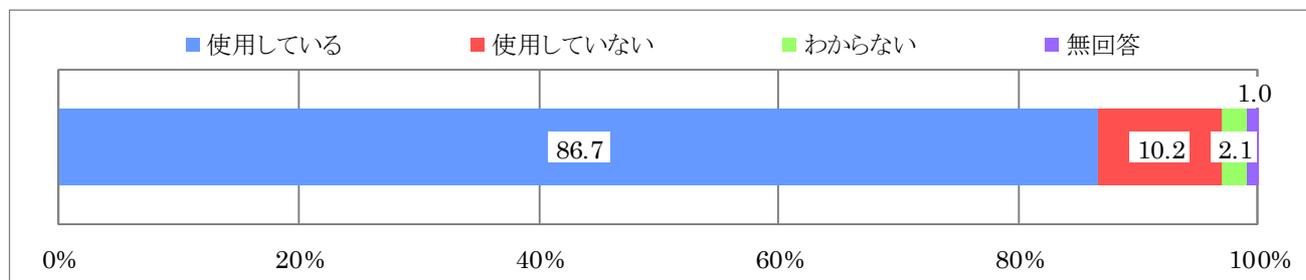


質問7-1 下水道の使用

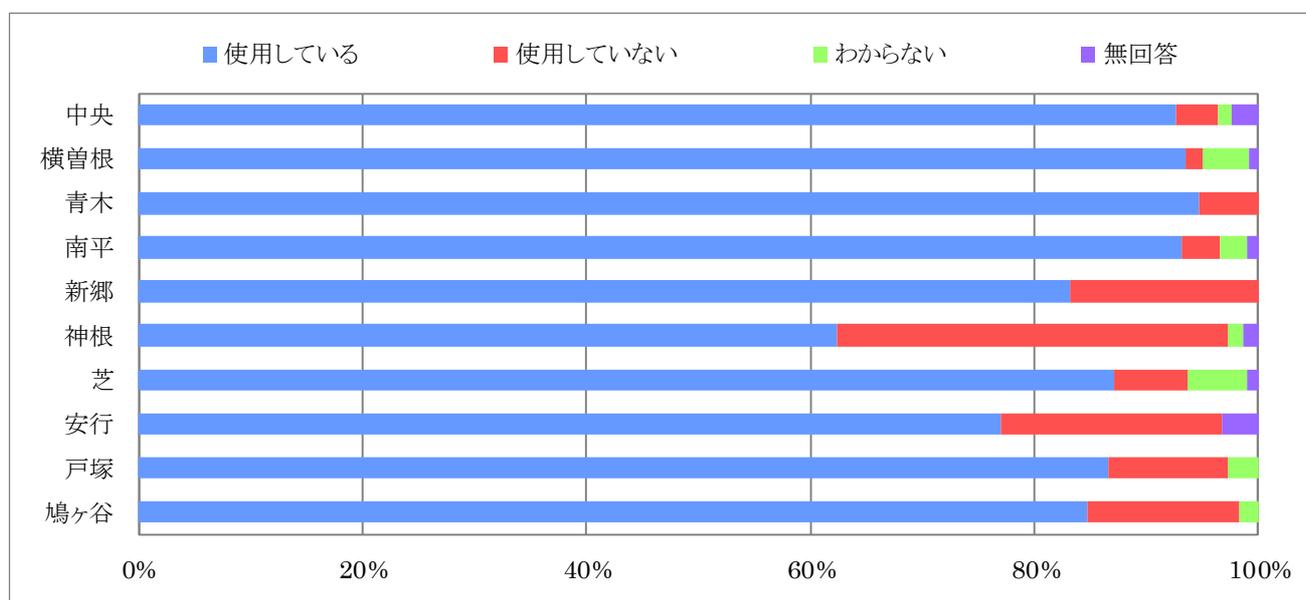
質問7で「整備されている」と回答した方の下水道の使用状況は、「使用している」が86.7%と大半を占めています。

地域別にみると、「使用していない」は神根、新郷、安行で多くなっています。

●下水道の使用(計 813)



●下水道の使用(地域別)

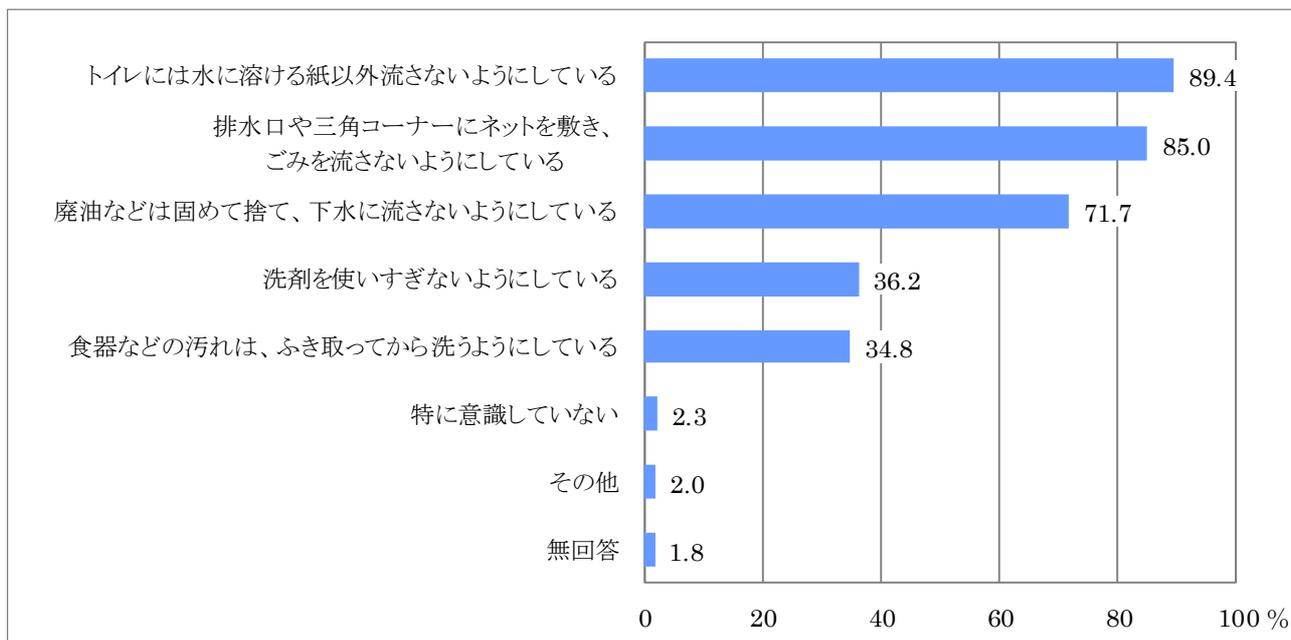


質問7-2 下水道の使用で心がけていること

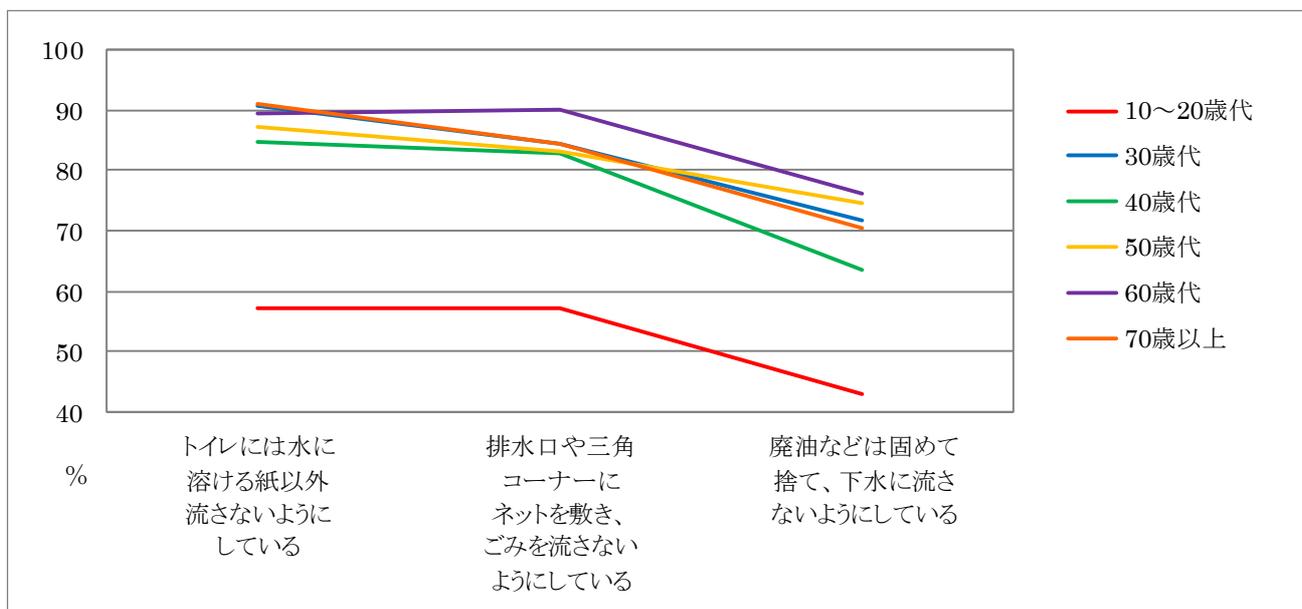
質問7で「整備されている」と回答した方の下水道の使用で心がけていることは、「トイレには水に溶ける紙以外流さないようにしている」が89.4%で最も多く、次いで「排水口や三角コーナーにネットを敷き、ごみを流さないようにしている」(85.0%)、「廃油などは固めて捨て、下水に流さないようにしている」(71.7%)、「洗剤を使いすぎないようにしている」(36.2%)となっています。

年齢別にみると、「排水口や三角コーナーにネットを敷き、ごみを流さないようにしている」、「廃油などは固めて捨て、下水に流さないようにしている」とも60歳代で多くなっています。一方、主要3項目のいずれも10~20歳代で少なくなっています。

●下水道の使用で心がけていること(計813)



●下水道の使用で心がけていること(年齢別、主要3項目)



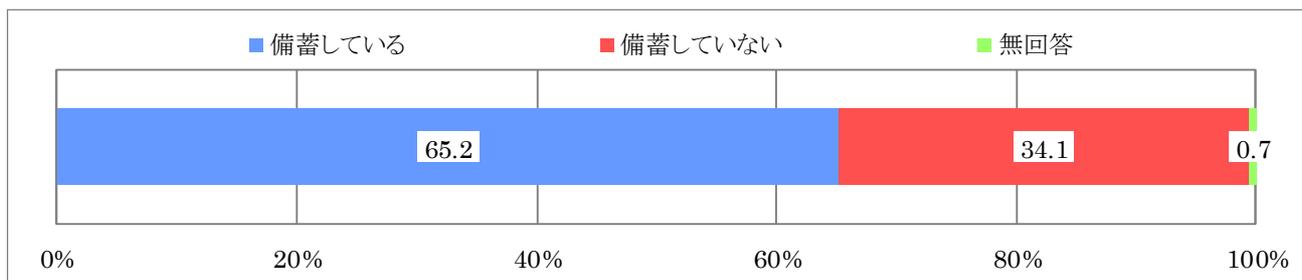
5 災害時・非常時について

質問8 災害時・非常時に備えた水の備蓄

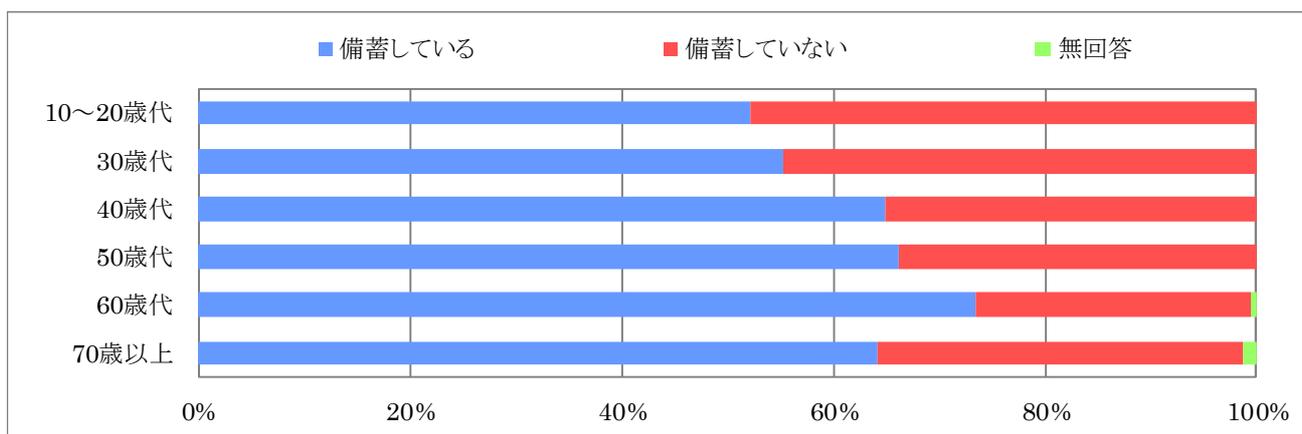
災害時・非常時に備えて水を備蓄している人は65.2%と半数以上を占めています。

年齢別にみると、「備蓄している」方の割合は年齢が上がるにつれて増加する傾向がみられ、60歳代で最も多くなっています。

●災害時・非常時に備えた水の備蓄(計 1,017)



●災害時・非常時に備えた水の備蓄(年齢別)

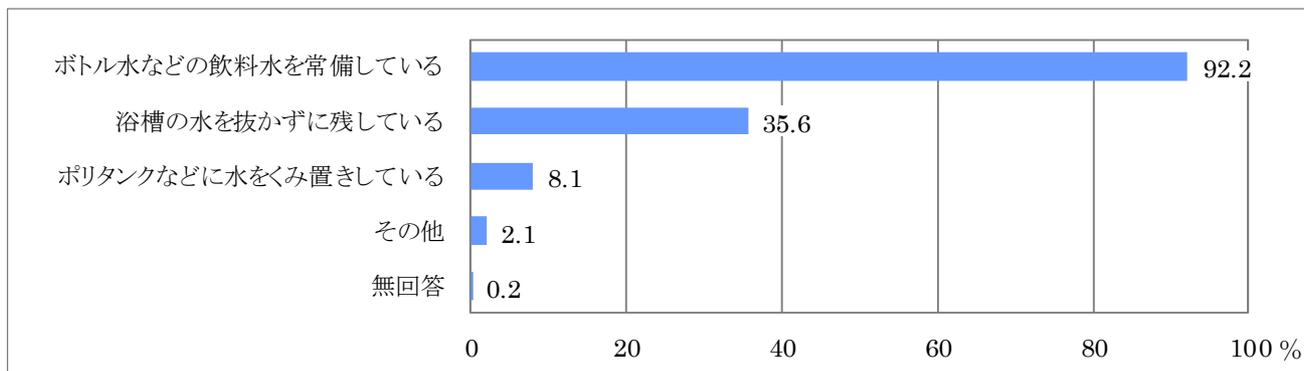


質問 8 - 1 災害時・非常時に備えた水の備蓄方法

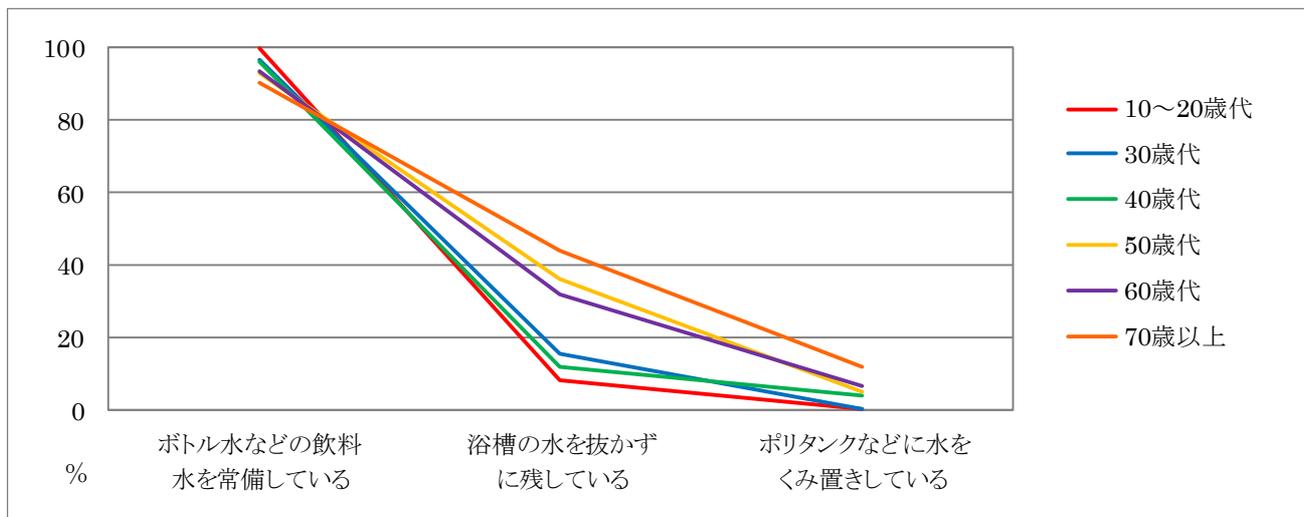
質問 8 で災害時・非常時に備え、水を備蓄していると回答した方の備蓄方法は、「ボトル水などの飲料水を常備している」(92.2%) が最も多く、次いで「浴槽の水を抜かずに残している」(35.6%)、「ポリタンクなどに水をくみ置きしている」(8.1%) となっています。

年齢別にみると、「浴槽の水を抜かずに残している」、「ポリタンクなどに水をくみ置きしている」が 70 歳以上で多くなっています。

●災害時・非常時に備えた水の備蓄方法(計 663)



●災害時・非常時に備えた水の備蓄方法(年齢別、主要 3 項目)

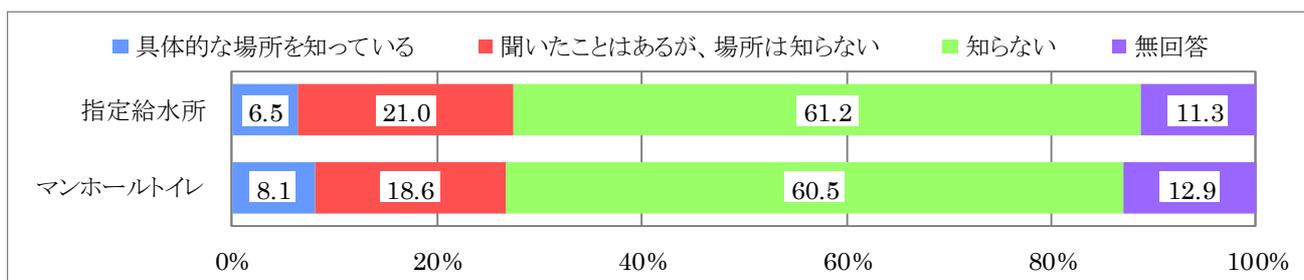


質問9 指定給水所及びマンホールトイレの設置場所

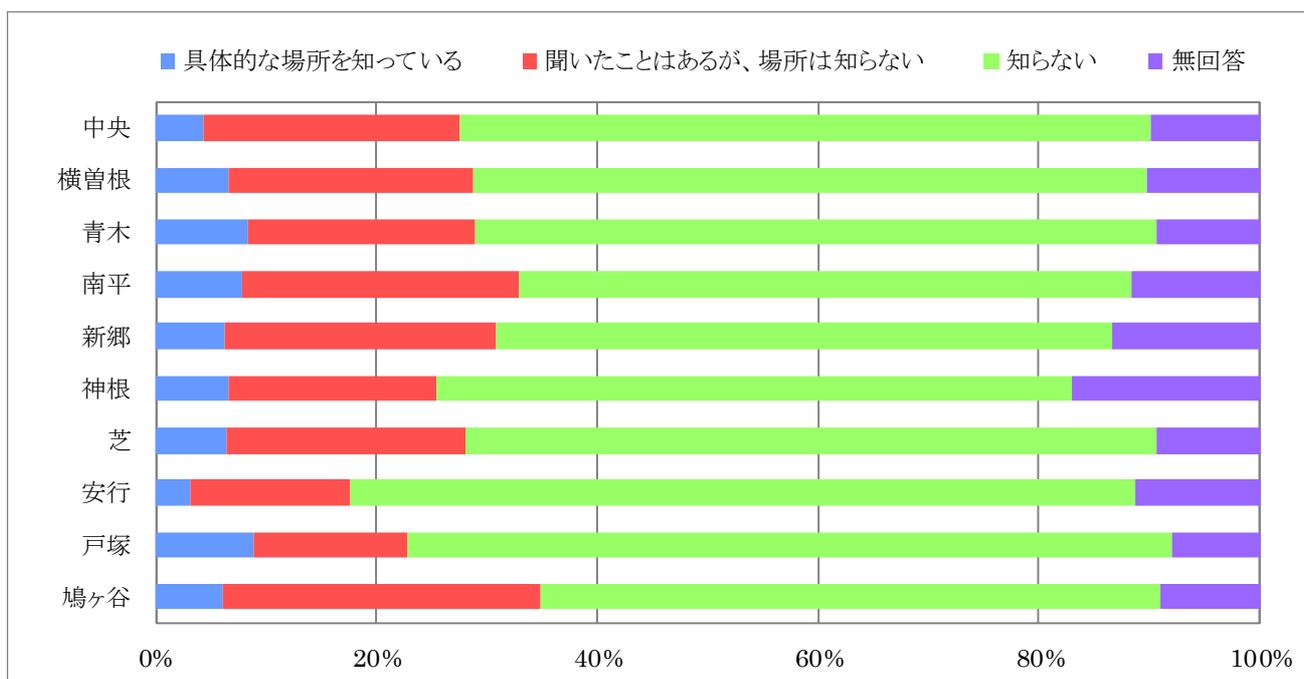
指定給水所の設置場所は、「具体的な場所を知っている」が6.5%で最も少なくなっています。また、マンホールトイレの設置場所も、「具体的な場所を知っている」が8.1%で最も少なくなっています。

地域別にみると、指定給水所の設置場所を「知らない」は安行、戸塚で多く、マンホールトイレの設置場所を「知らない」は芝で多くなっています。(次頁図)

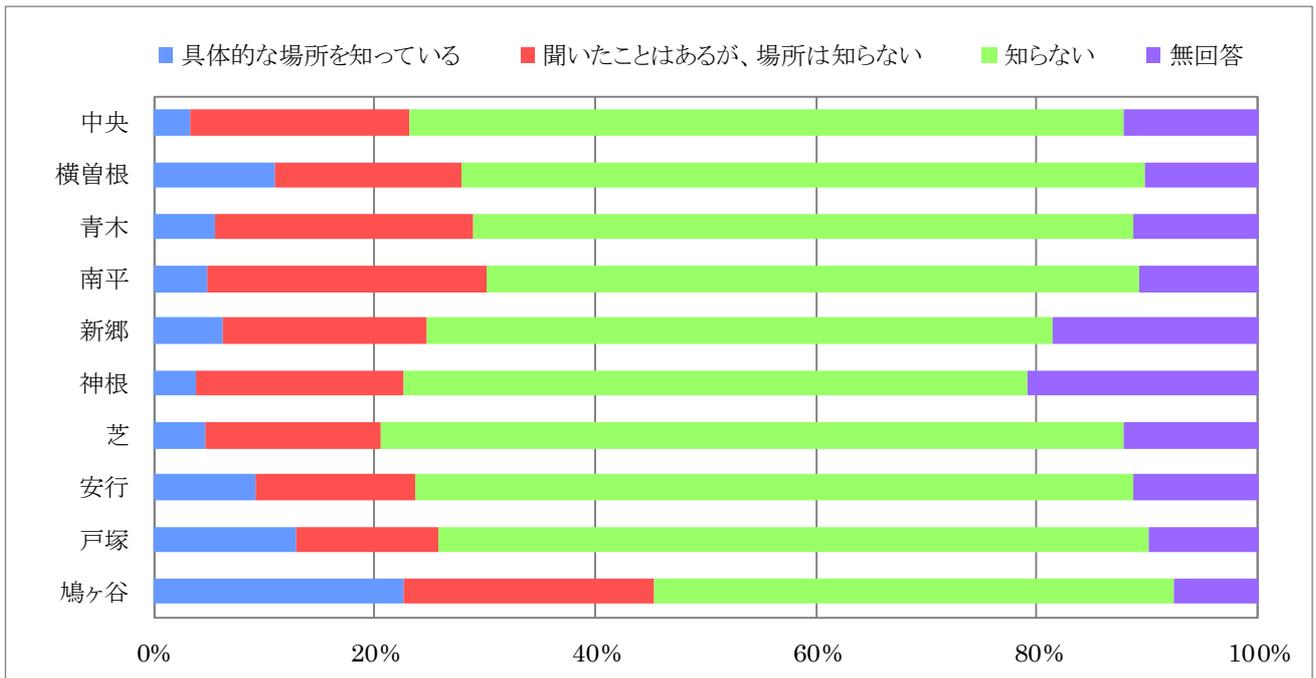
●指定給水所の設置場所(計 1,017)



●指定給水所の設置場所(地域別)



●マンホールトイレの設置場所(地域別)

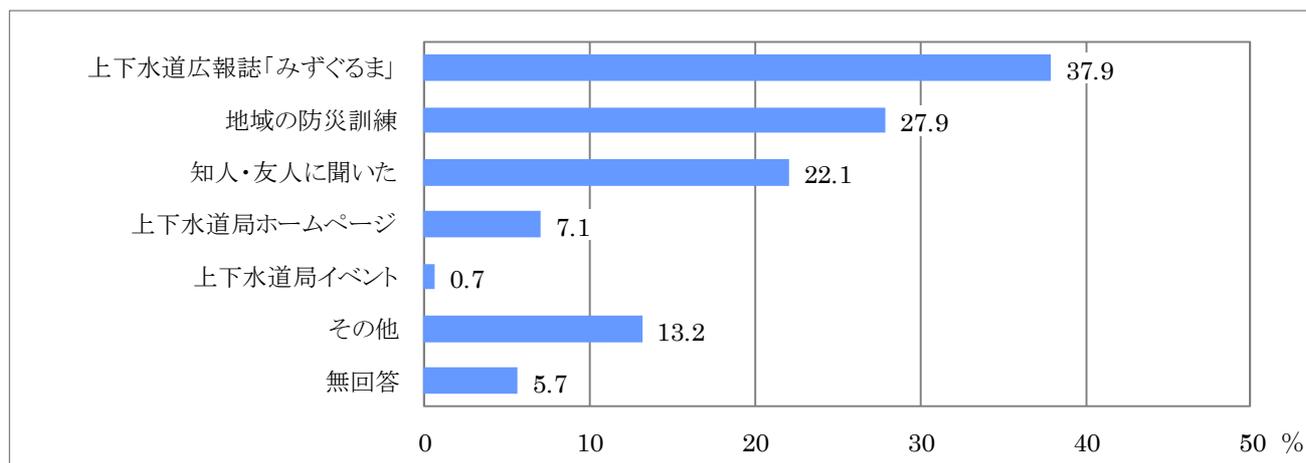


質問9-1 指定給水所の認知経路

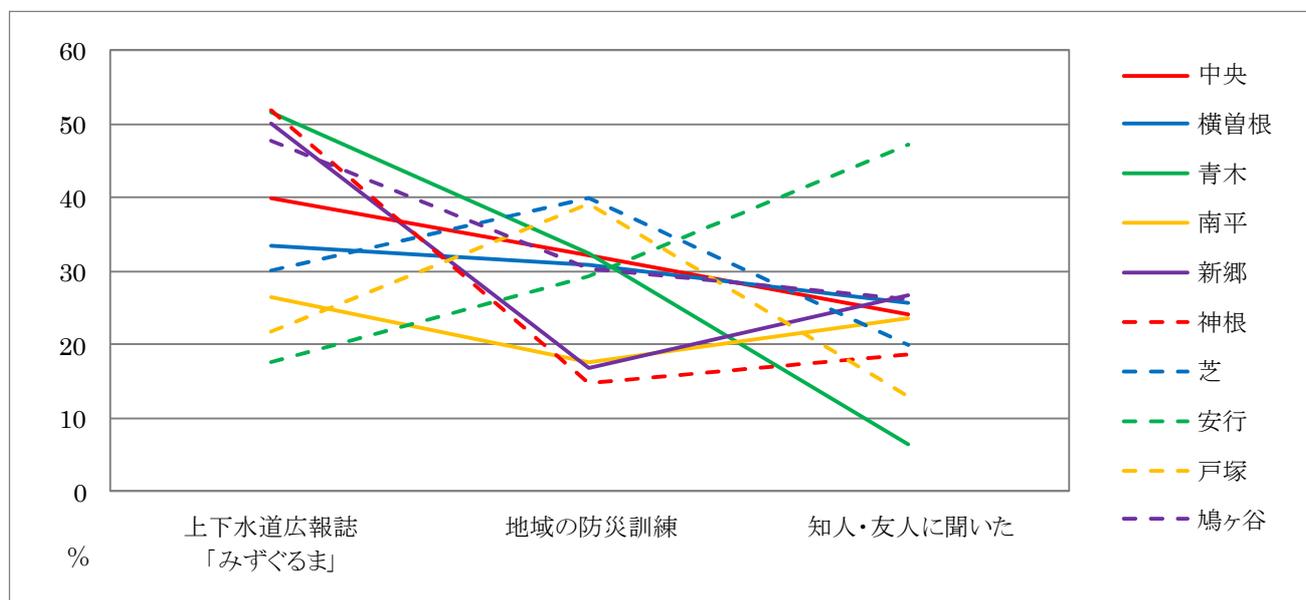
質問9で指定給水所の「具体的な場所を知っている」または「聞いたことはあるが、場所は知らない」と回答した方の認知経路は、「上下水道広報誌『みずぐるま』」が37.9%で最も多く、次いで「地域の防災訓練」(27.9%)、「知人・友人に聞いた」(22.1%)となっています。

地域別にみると、「上下水道広報誌『みずぐるま』」は青木、新郷、神根、鳩ヶ谷で、「地域の防災訓練」は芝、戸塚で、「知人・友人に聞いた」は安行で、それぞれ多くなっています。

●指定給水所の認知経路(計280)



●指定給水所の認知経路(地域別、主要3項目)

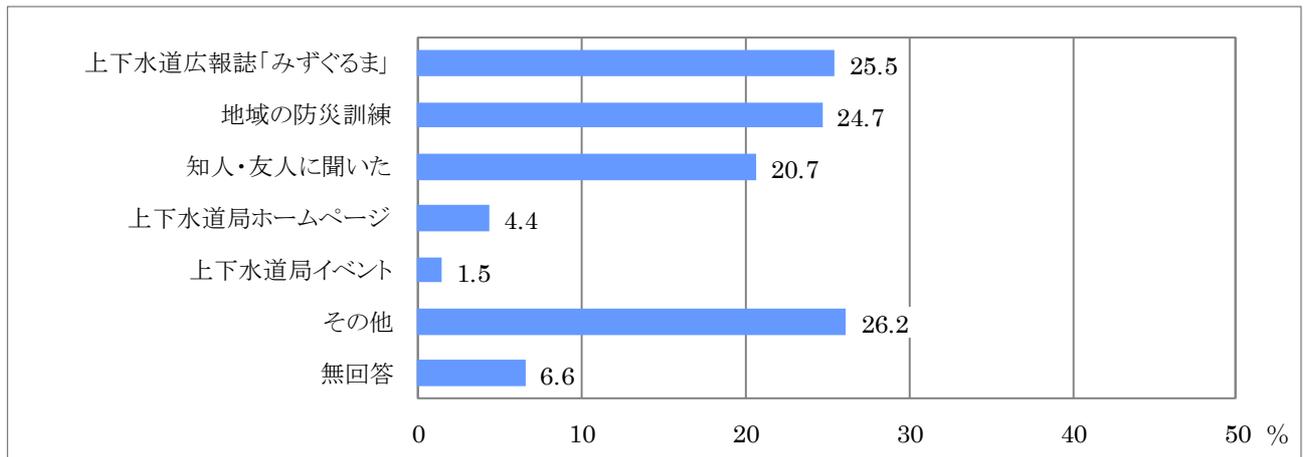


質問9-2 マンホールトイレの認知経路

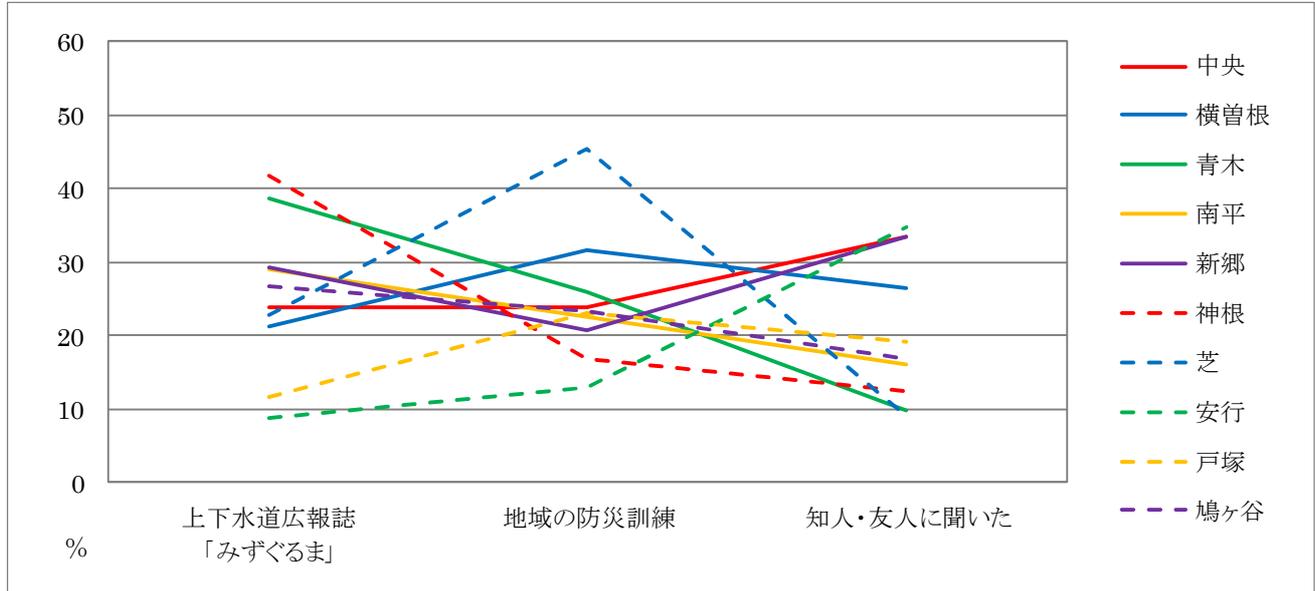
質問9でマンホールトイレの「具体的な場所を知っている」または「聞いたことはあるが、場所は知らない」と回答した方の認知経路は、「上下水道広報誌『みずぐるま』」が25.5%で最も多く、次いで「地域の防災訓練」(24.7%)、「知人・友人に聞いた」(20.7%)となっています。

地域別にみると、「上下水道広報誌『みずぐるま』」は青木、神根で、「地域の防災訓練」は芝、横曽根で、「知人・友人に聞いた」は中央、新郷、安行で、それぞれ多くなっています。

●マンホールトイレの認知経路(計 271)



●マンホールトイレの認知経路(地域別、主要3項目)

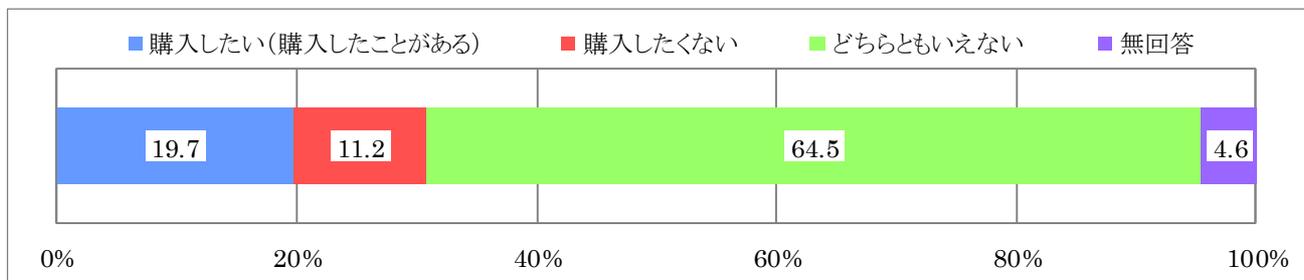


質問10 上下水道局が販売する災害用備蓄ボトル水の購入

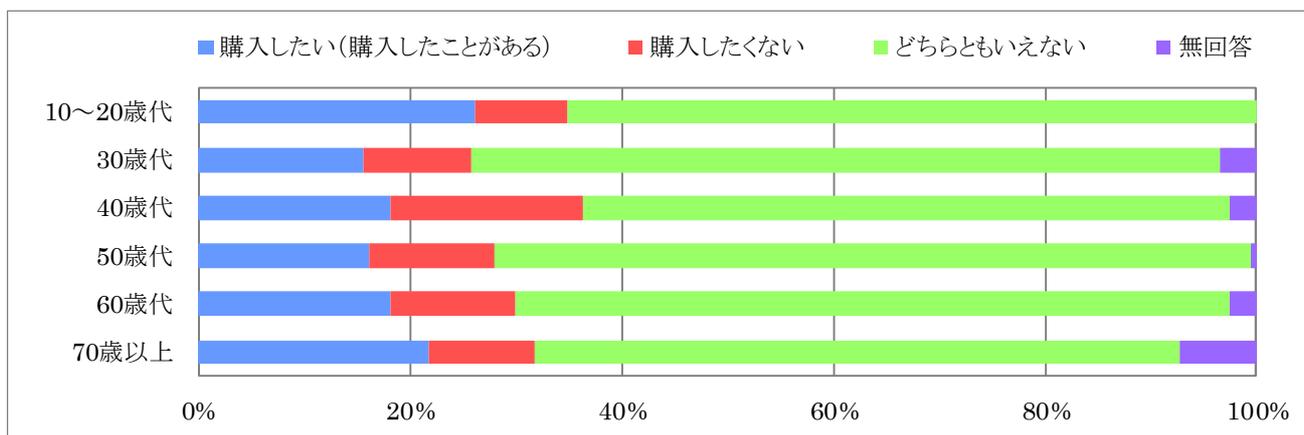
上下水道局が販売する災害用備蓄ボトル水の購入意向は、「購入したい（購入したことがある）」が19.7%となっています。

年齢別にみると、「購入したい（購入したことがある）」は10～20歳代で多くなっています。一方、「購入したくない」は40歳代で多くなっています。

● 上下水道局が販売する災害用備蓄ボトル水の購入（計 1,017）



● 上下水道局が販売する災害用備蓄ボトル水の購入（年齢別）

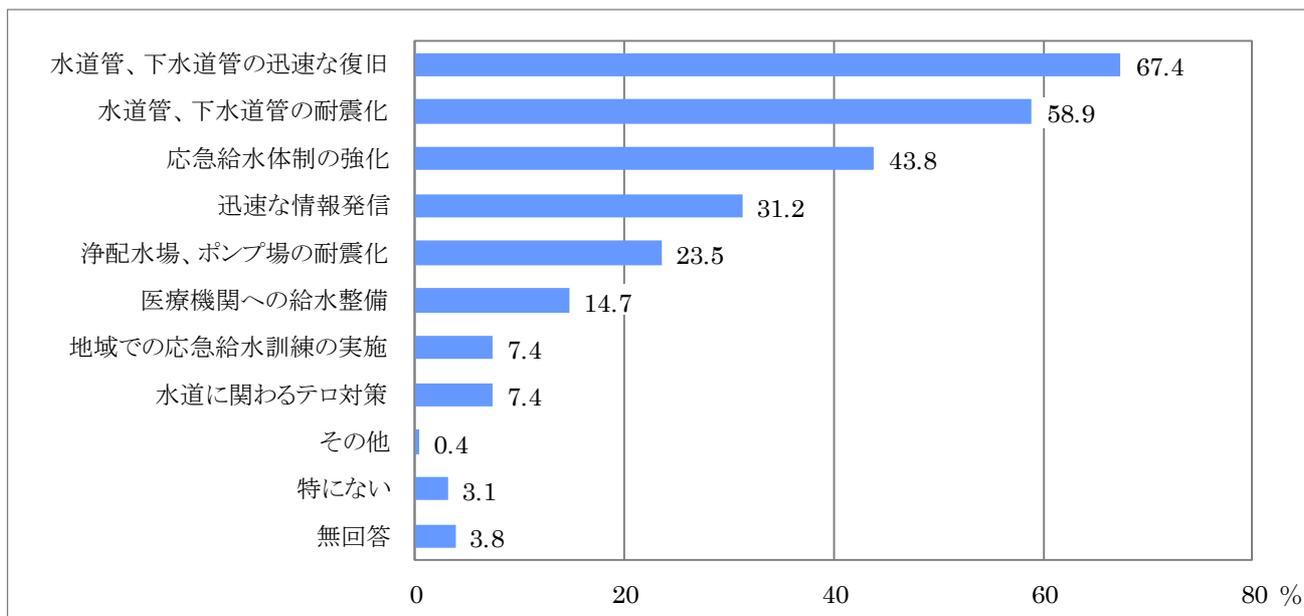


質問 1 1 災害時・非常時の対策として上下水道局に望むこと

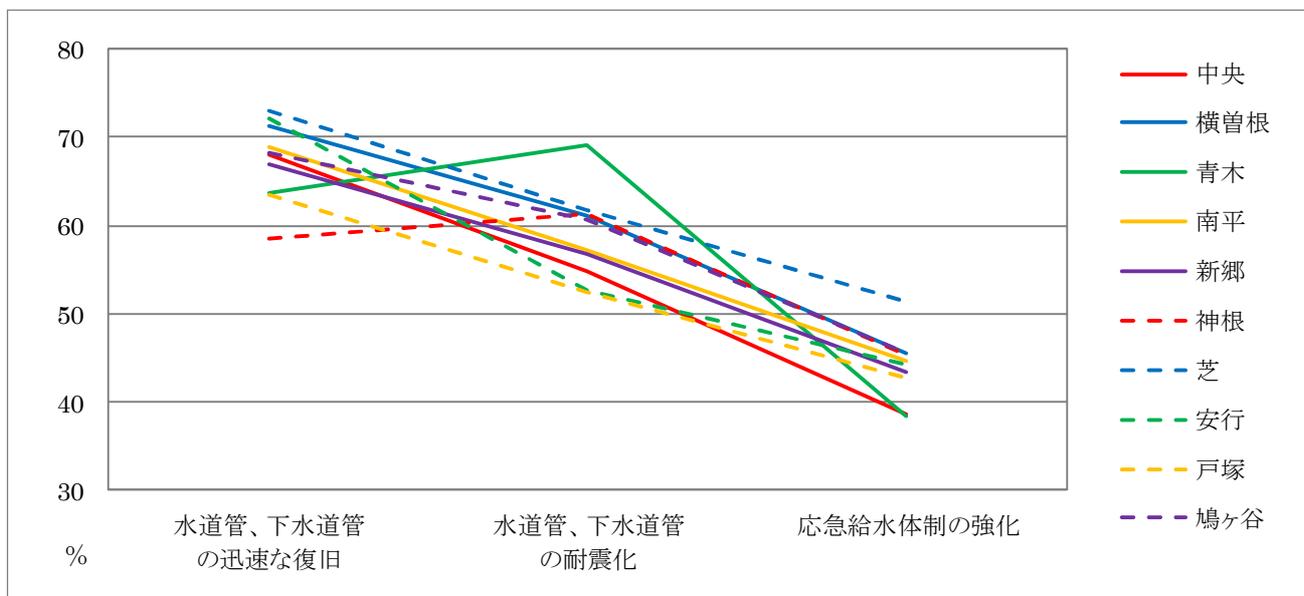
災害時・非常時の対策として上下水道局に望むことは、「水道管、下水道管の迅速な復旧」が 67.4% で最も多く、次いで「水道管、下水道管の耐震化」(58.9%)、「応急給水体制の強化」(43.8%)、「迅速な情報発信」(31.2%)、「浄配水場、ポンプ場の耐震化」(23.5%)となっています。

地域別にみると、「水道管、下水道管の迅速な復旧」は横曽根、芝、安行で、「水道管、下水道管の耐震化」は青木で、「応急給水体制の強化」は芝で、それぞれ多くなっています。

●災害時・非常時の対策として上下水道局に望むこと(計 1,017)



●災害時・非常時の対策として上下水道局に望むこと(地域別、主要 3 項目)



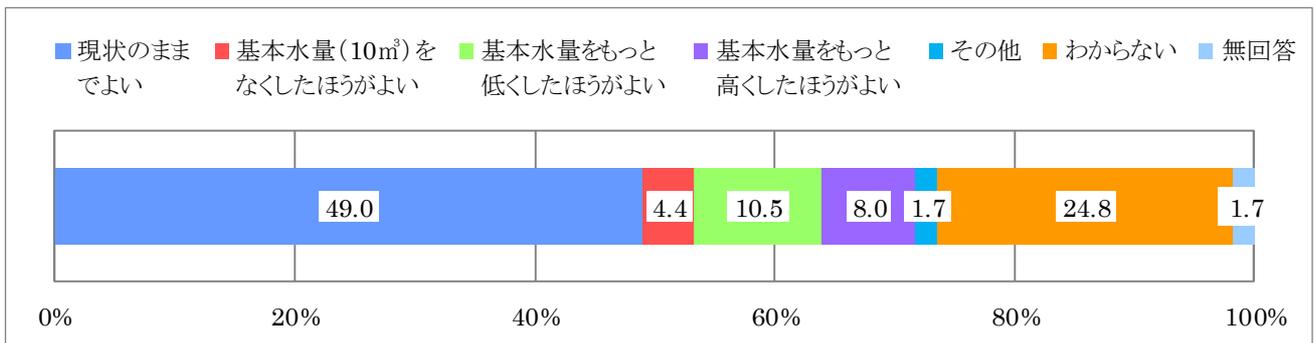
6 水道料金・下水道使用料について

質問 1 2 基本料金の仕組み

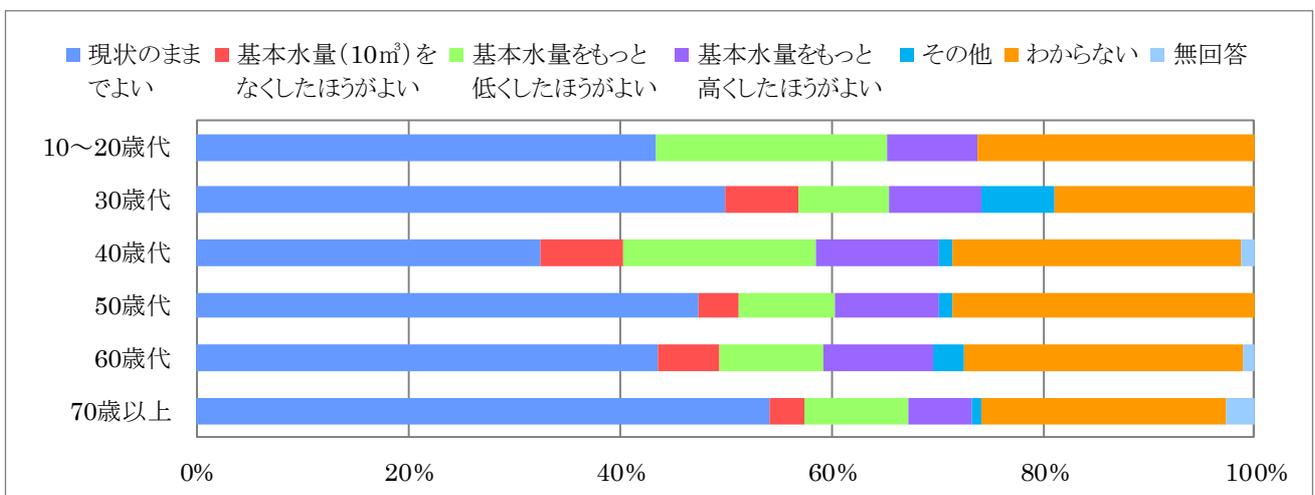
基本料金の仕組みは、「現状のままでよい」が 49.0%と約半数となっています。

年齢別にみると、「現状のままでよい」は 70 歳以上で多く、「基本水量をもっと低くしたほうがよい」は 10～20 歳代、40 歳代で多くなっています。

●基本料金の仕組み(計 1,017)



●基本料金の仕組み(年齢別)

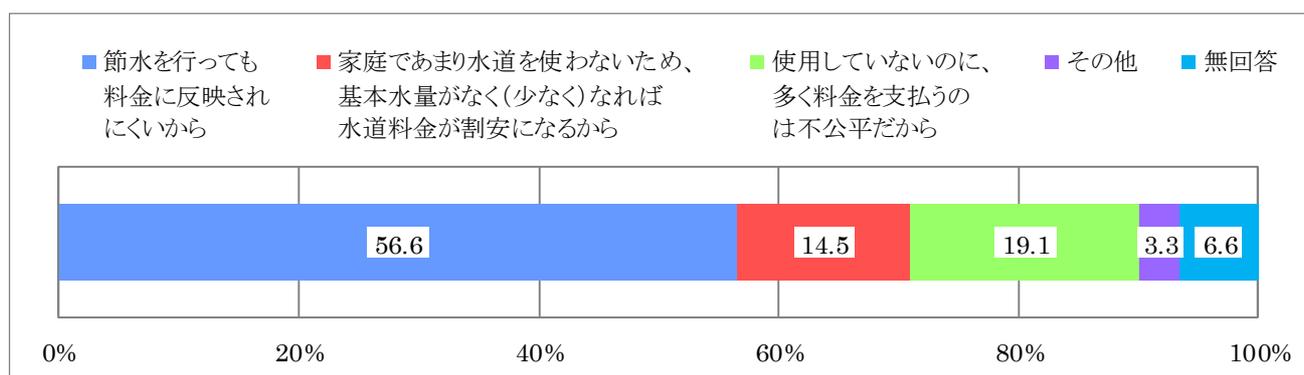


質問12-1 基本水量をなくす、もっと低く設定すると回答した理由

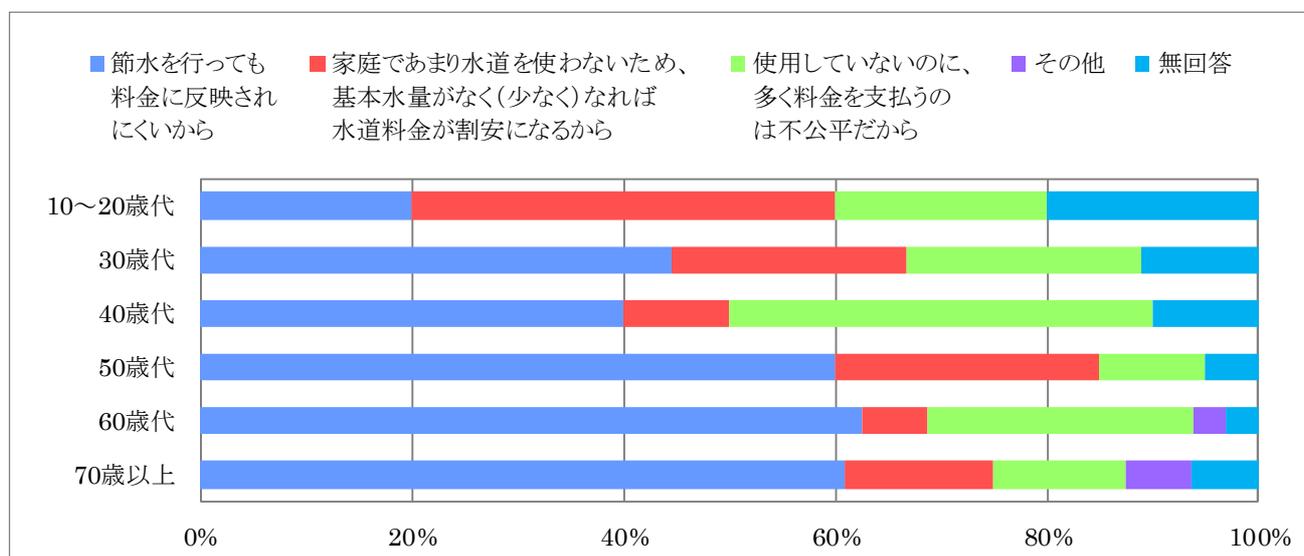
質問12で「基本水量をなくしたほうがよい」または「基本水量をもっと低くしたほうがよい」と回答した方の理由は、「節水を行っても料金に反映されにくいから」が56.6%で最も多く、次いで「使用していないのに、多く料金を支払うのは不公平だから」(19.1%)、「家庭であまり水道を使わないため、基本水量がなく(少なく)なれば水道料金が割安になるから」(14.5%)となっています。

年齢別にみると、「家庭であまり水道を使わないため、基本水量がなく(少なく)なれば水道料金が割安になるから」は10~20歳代で多く、「使用していないのに、多く料金を支払うのは不公平だから」は40歳代で多くなっています。

●基本水量をなくす、もっと低く設定すると回答した理由(計152)



●基本水量をなくす、もっと低く設定すると回答した理由(年齢別)

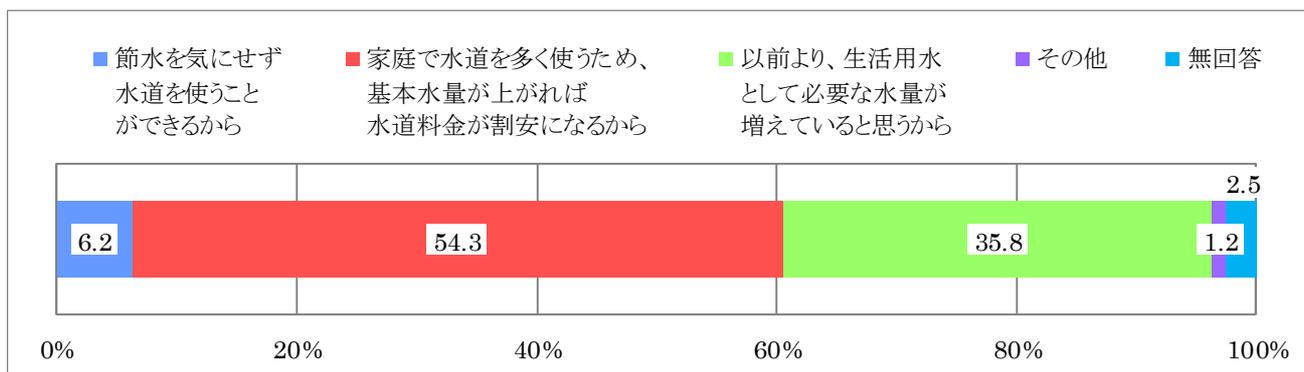


質問 1 2 - 2 基本水量をもっと高く設定すると回答した理由

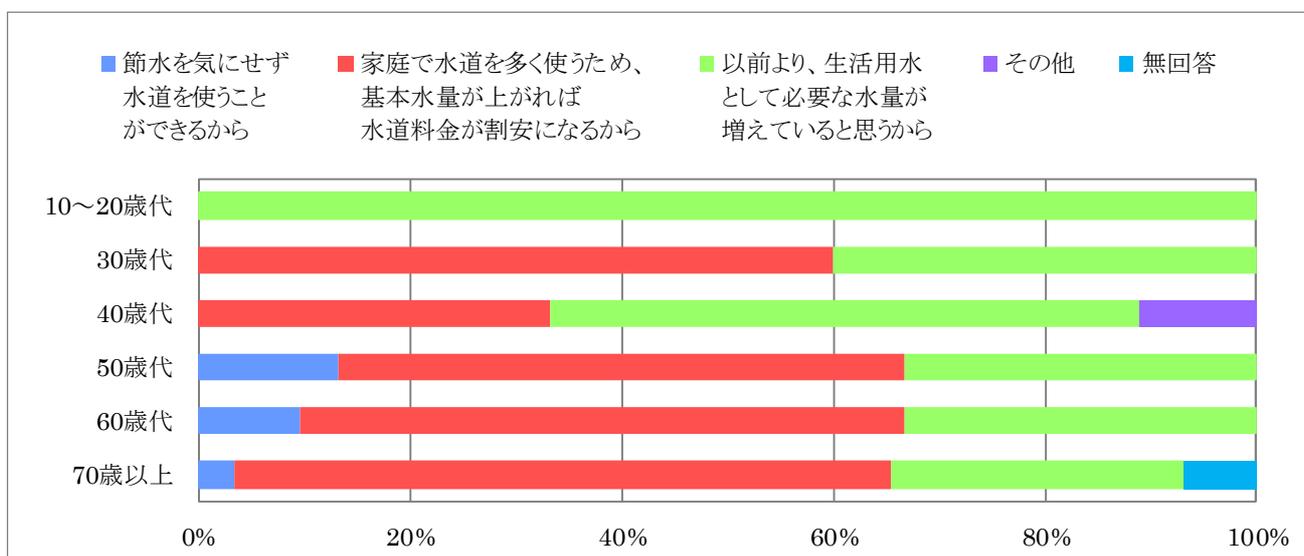
質問 1 2 で「基本水量をもっと高くしたほうがよい」と回答した方の理由は、「家庭で水道を多く使うため、基本水量が上がれば水道料金が割安になるから」が 54.3% で最も多く、次いで「以前より、生活用水として必要な水量が増えていると思うから」(35.8%)、「節水を気にせず水道を使うことができるから」(6.2%) となっています。

年齢別にみると、「家庭で水道を多く使うため、基本水量が上がれば水道料金が割安になるから」は 30 歳代、70 歳以上で多く、「以前より、生活用水として必要な水量が増えていると思うから」は 10~20 歳代、40 歳代で多くなっています。

● 基本水量をもっと高く設定すると回答した理由 (計 81)



● 基本水量をもっと高く設定すると回答した理由 (年齢別)

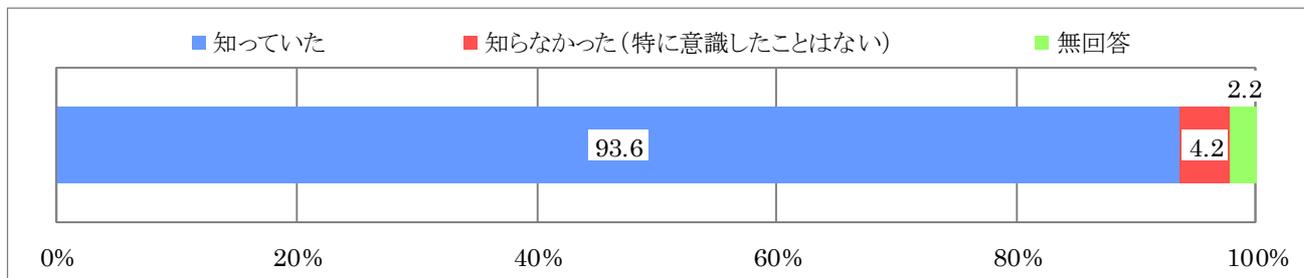


質問 1 3 水道料金と下水道使用料を合わせた2ヶ月分まとめ払いの認知

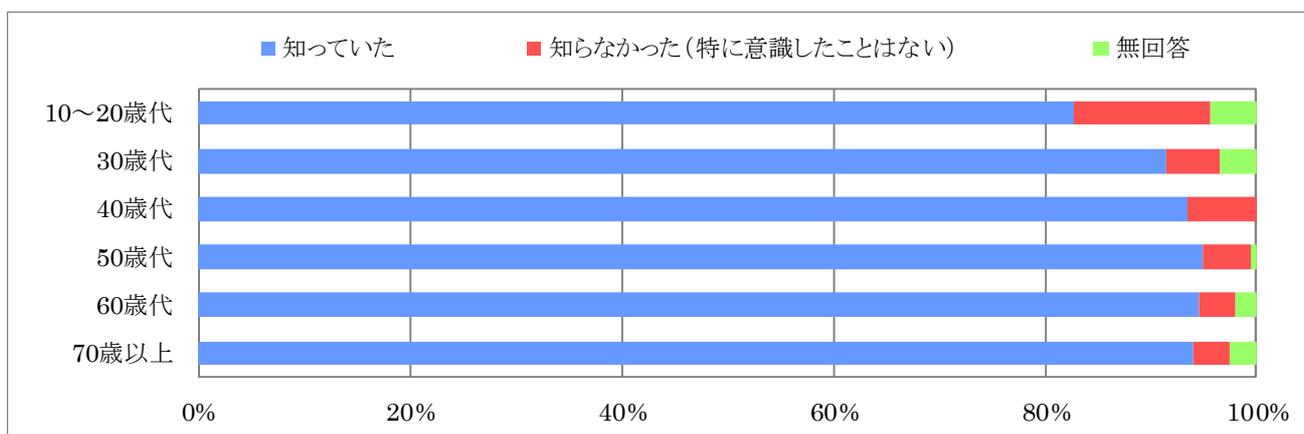
水道料金と下水道使用料を2ヶ月分まとめて払っていることについての認知状況は、「知っていた」が93.6%と大半を占めています。

年齢別にみると、「知らなかった（特に意識したことはない）」は10～20歳代で多くなっています。

●水道料金と下水道使用料を合わせた2ヶ月分まとめ払いの認知(計 1,017)



●水道料金と下水道使用料を合わせた2ヶ月分まとめ払いの認知(年齢別)

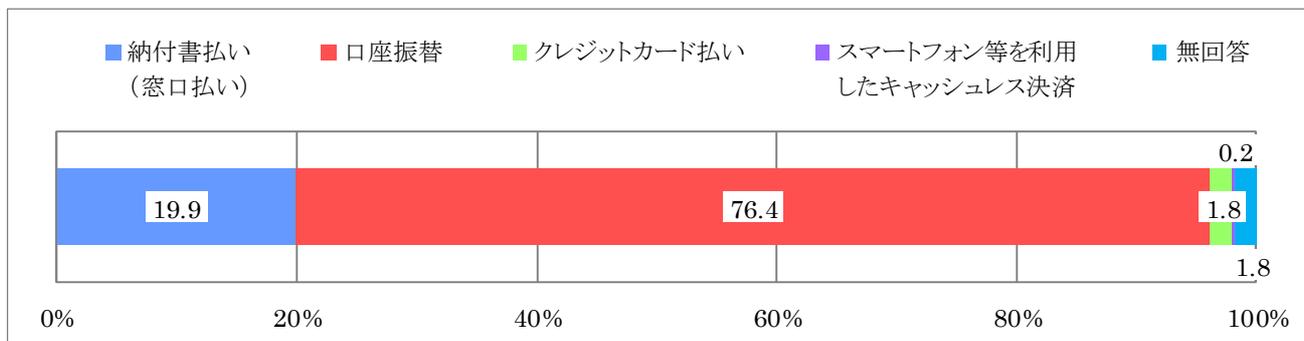


質問 1 4 現在の水道料金と下水道使用料の支払い方法

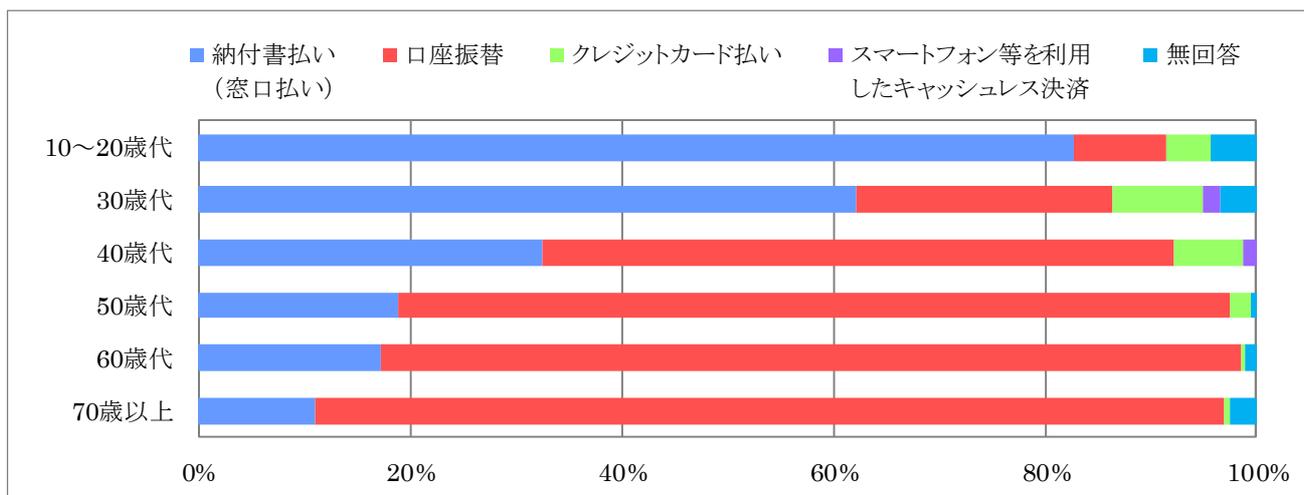
現在の水道料金と下水道使用料の支払い方法は、「口座振替」が 76.4%で最も多く、次いで「納付書払い（窓口払い）」（19.9%）となっています。

年齢別にみると、「納付書払い（窓口払い）」は 10～20 歳代、30 歳代で多く、「口座振替」は 40 歳代以上で増加する傾向にあります。

●現在の水道料金と下水道使用料の支払い方法(計 1,017)



●現在の水道料金と下水道使用料の支払い方法(年齢別)

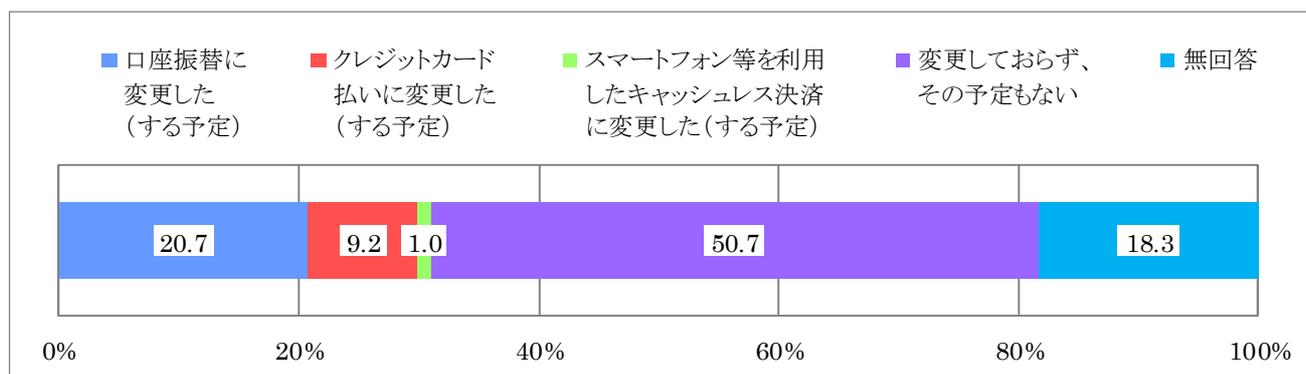


質問 15 今後の水道料金と下水道使用料の支払い方法

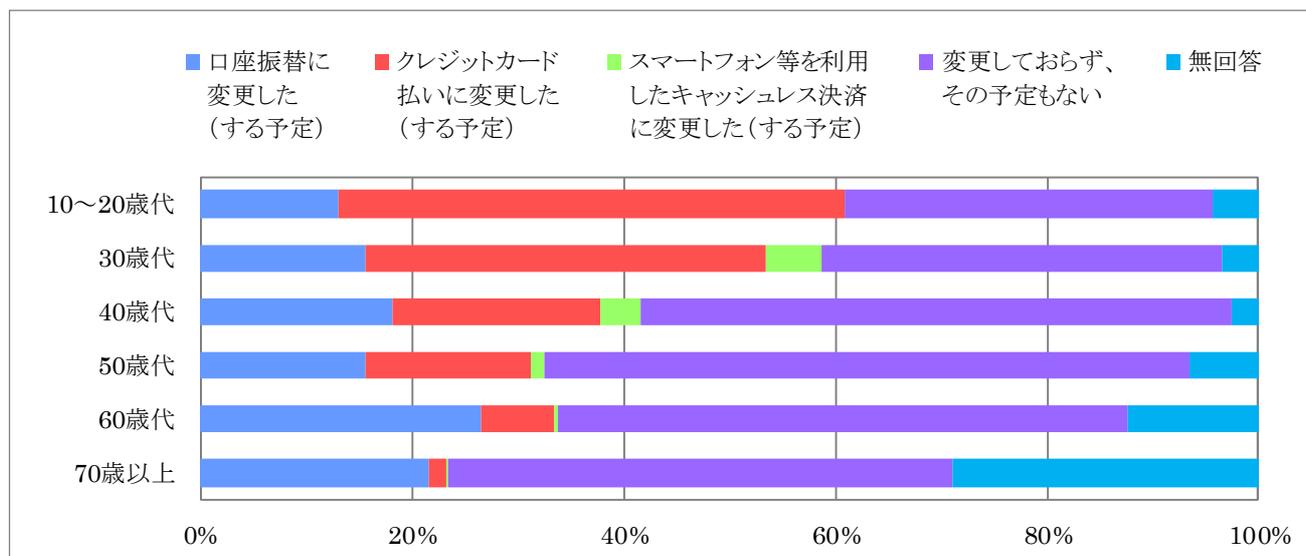
今後の水道料金と下水道使用料の支払い方法は、「変更しておらず、その予定もない」が 50.7%で最も多く、次いで「口座振替に変更した（する予定）」(20.7%)、「クレジットカード払いに変更した（する予定）」(9.2%) となっています。

年齢別にみると、「口座振替に変更した（する予定）」は 60 歳代、70 歳以上で多く、「クレジットカード払いに変更した（する予定）」は 10～20 歳代、30 歳代で多くなっています。

●今後の水道料金と下水道使用料の支払い方法(計 1,017)



●今後の水道料金と下水道使用料の支払い方法(年齢別)



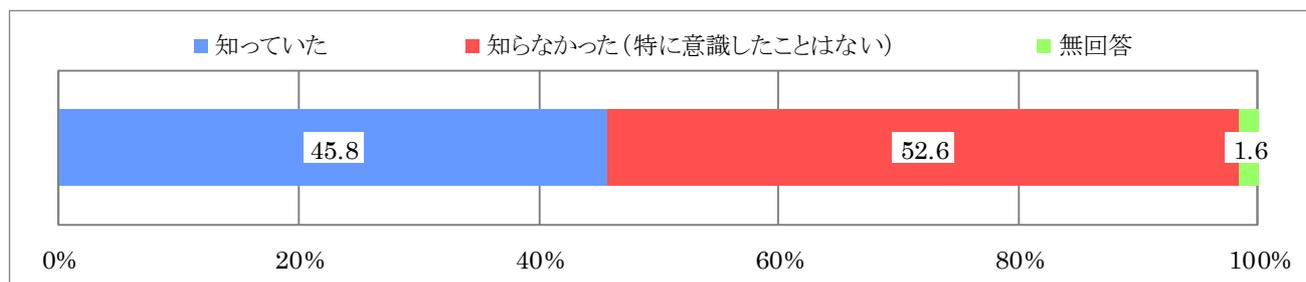
7 上下水道事業について

質問 16 水道事業が独立採算制であること

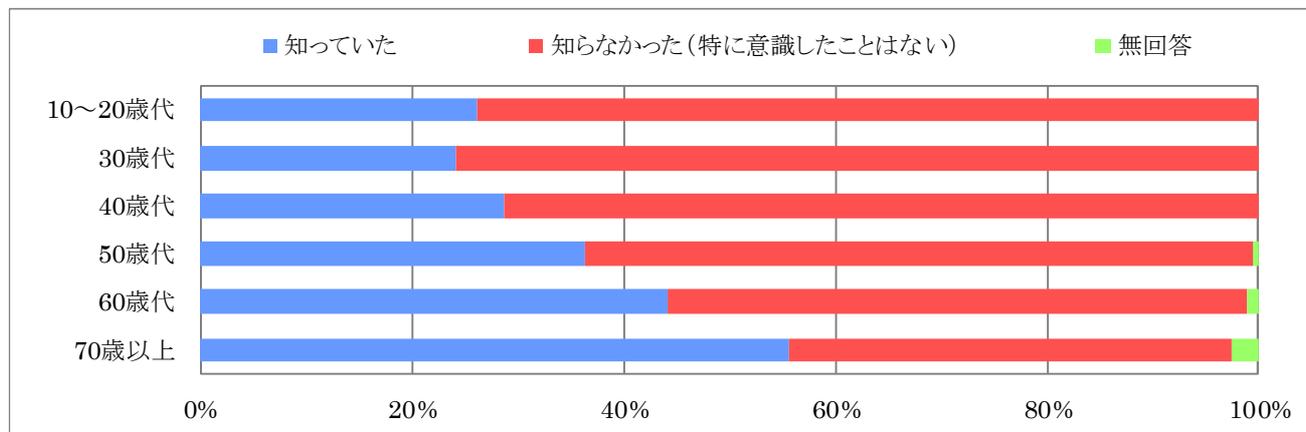
水道事業が独立採算制であることは、「知っていた」が45.8%、「知らなかった（特に意識したことはない）」が52.6%となっています。

年齢別にみると、「知っていた」は年齢が上がるにつれて増加する傾向がみられ、70歳以上が最も多くなっています。

●水道事業が独立採算制であること(計 1,017)



●水道事業が独立採算制であること(年齢別)

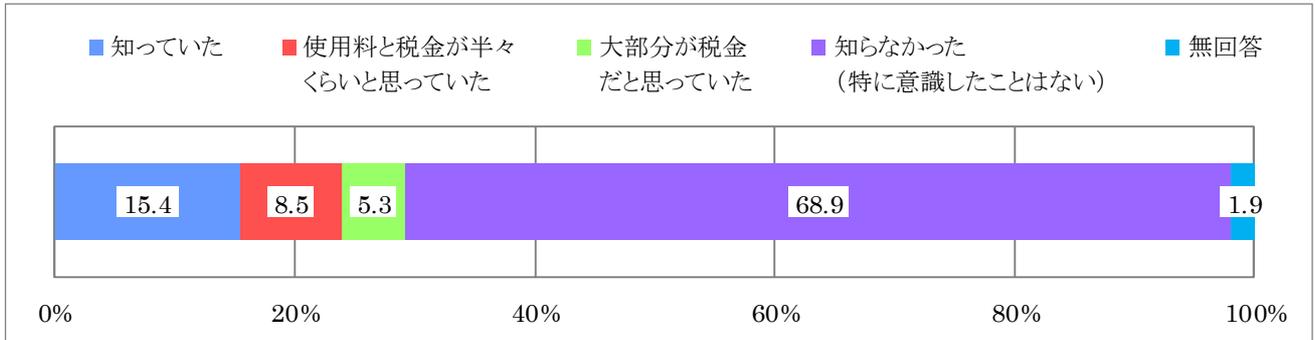


質問 17 下水道使用料の不足分を公費でまかなっていること

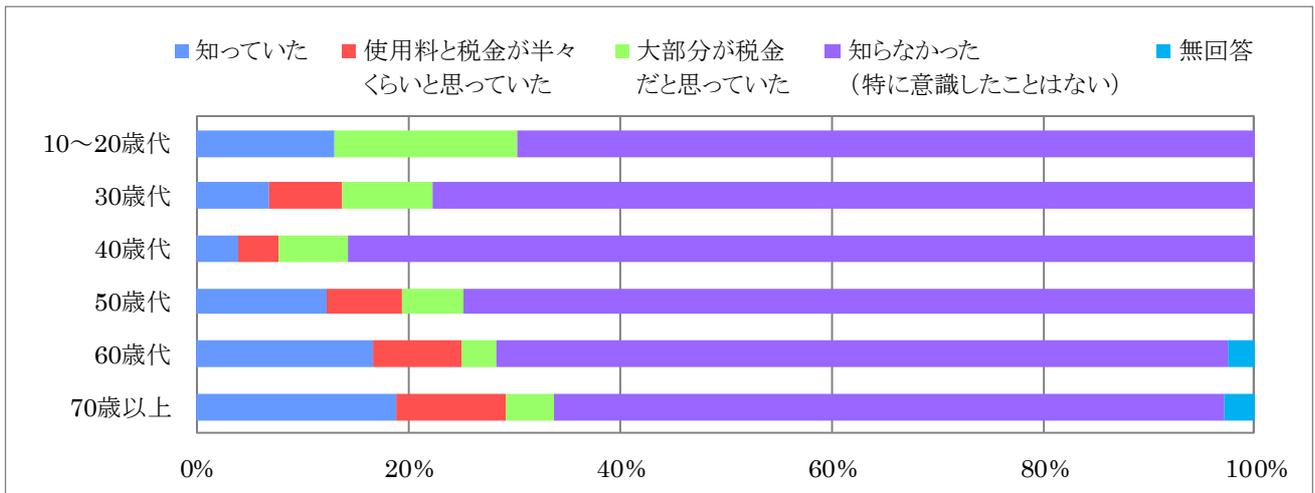
下水道使用料の不足分を公費でまかなっていることは、「知らなかった（特に意識したことはない）」が 68.9%で最も多く、次いで「知っていた」（15.4%）となっています。

年齢別にみると、「知っていた」は 60 歳代、70 歳以上で多く、「大部分が税金だと思っていた」は 10～20 歳代で多くなっています。

● 下水道使用料の不足分を公費でまかなっていること(計 1,017)



● 下水道使用料の不足分を公費でまかなっていること(年齢別)

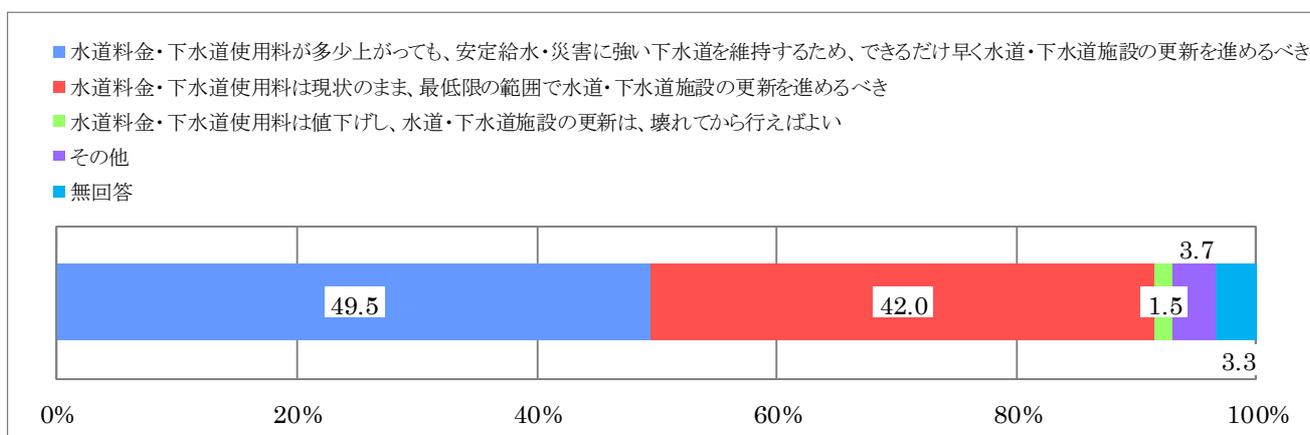


質問 18 水道料金・下水道使用料と水道・下水道施設の更新について

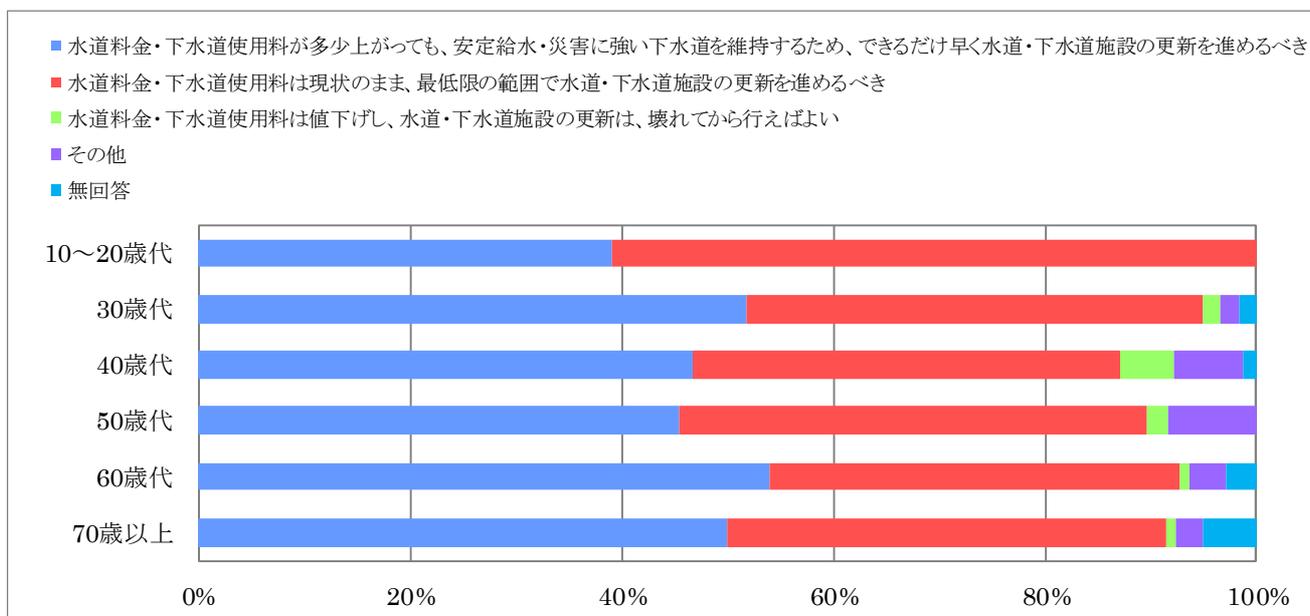
水道料金・下水道使用料と水道・下水道施設の更新について、「水道料金・下水道使用料が多少上がっても、安定給水・災害に強い下水道を維持するため、できるだけ早く水道・下水道施設の更新を進めるべき」が 49.5%で最も多く、次いで「水道料金・下水道使用料は現状のまま、最低限の範囲で水道・下水道施設の更新を進めるべき」(42.0%) となっています。

年齢別にみると、「水道料金・下水道使用料が多少上がっても、安定給水・災害に強い下水道を維持するため、できるだけ早く水道・下水道施設の更新を進めるべき」は 30 歳代、60 歳代で多く、「水道料金・下水道使用料は現状のまま、最低限の範囲で水道・下水道施設の更新を進めるべき」は 10～20 歳代で多くなっています。

●水道料金・下水道使用料と水道・下水道施設の更新について(計 1,017)



●水道料金・下水道使用料と水道・下水道施設の更新について(年齢別)

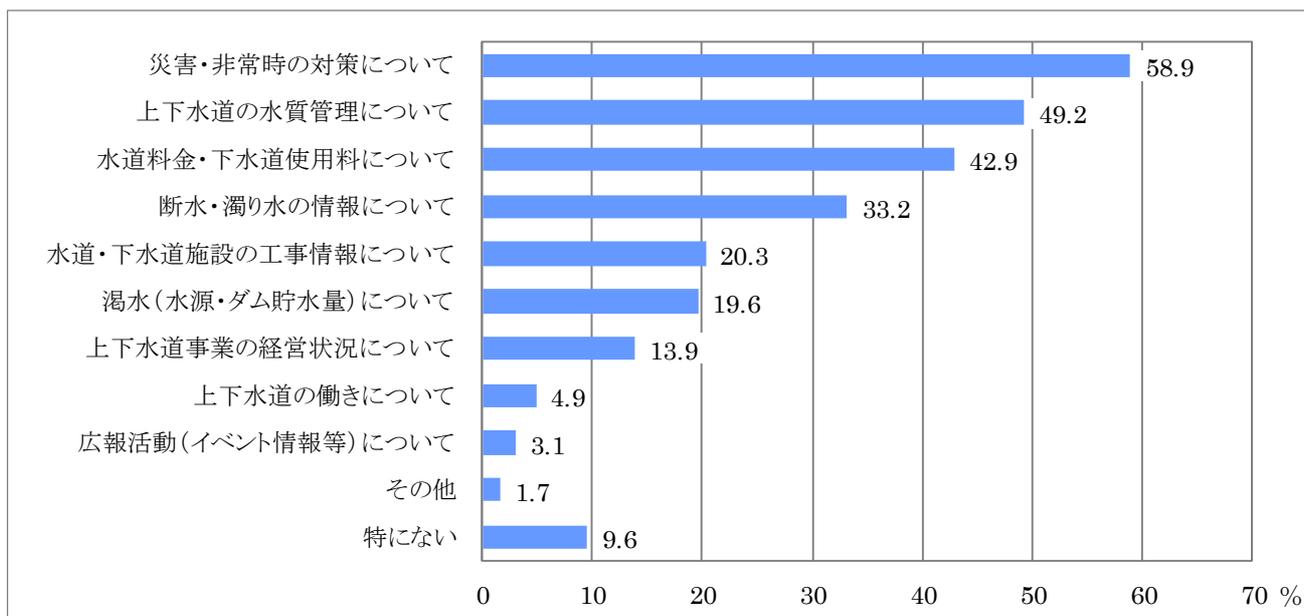


質問 19 上下水道事業について関心のあること

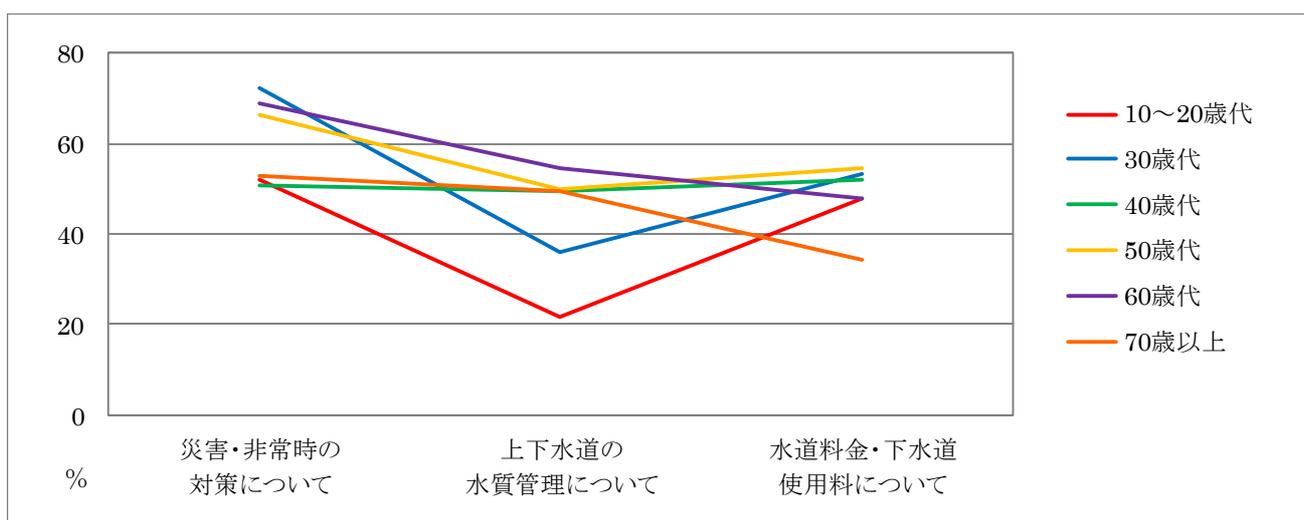
上下水道事業について関心のあることは、「災害・非常時の対策について」が 58.9%で最も多く、次いで「上下水道の水質管理について」(49.2%)、「水道料金・下水道使用料について」(42.9%)、「断水・濁り水の情報について」(33.2%)、「水道・下水道施設の工事情報について」(20.3%)となっています。

年齢別にみると、「災害・非常時の対策について」は 30 歳代、50 歳代、60 歳代で、「上下水道の水質管理について」は 60 歳代で、「水道料金・下水道使用料について」は 30 歳代、40 歳代、50 歳代で、それぞれ多くなっています。

● 上下水道事業について関心のあること(計 1,017)



● 上下水道事業について関心のあること(年齢別、主要 3 項目)



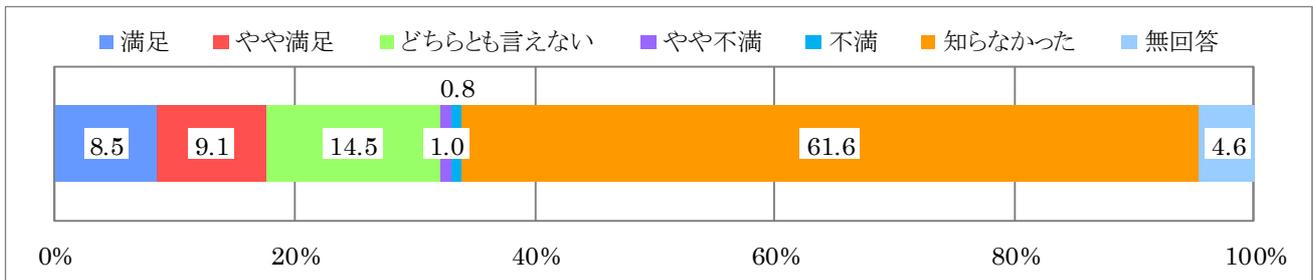
8 上下水道局の取り組みについて

質問20 ホームページでの情報発信

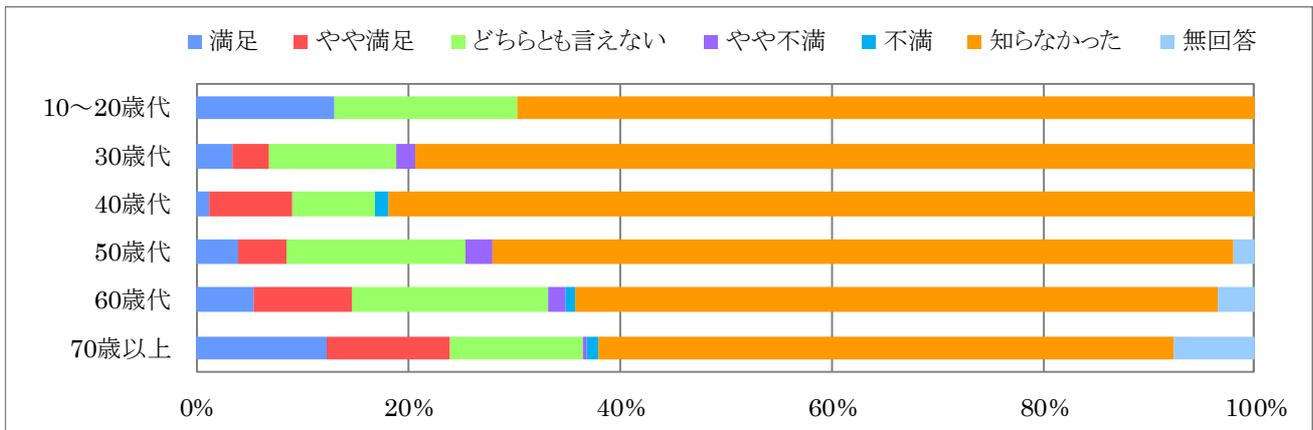
ホームページでの情報発信については、「知らなかった」が61.6%で最も多く、「満足」を含む回答（「満足」＋「やや満足」）は17.6%となっています。

年齢別にみると、「満足」を含む回答（「満足」＋「やや満足」）は70歳以上で多くなっています。また、「知らなかった」は30歳代、40歳代、50歳代で多くなっています。

●ホームページでの情報発信(計 1,017)



●ホームページでの情報発信(年齢別)

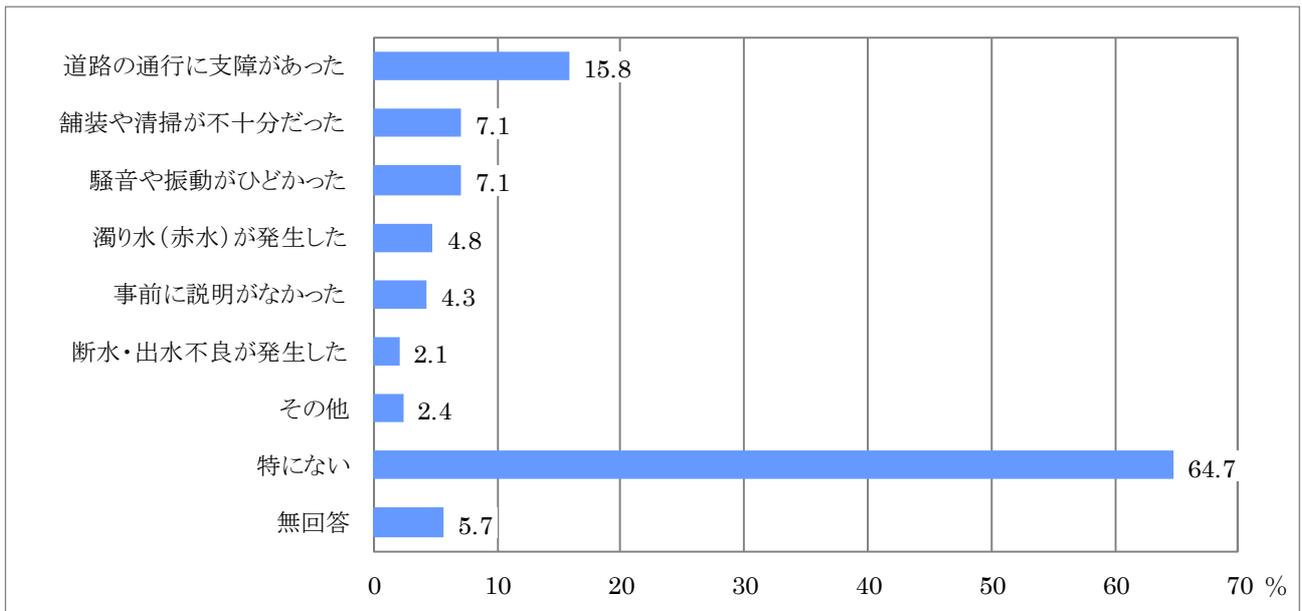


質問 2 1 上下水道局の工事で不満に思ったこと

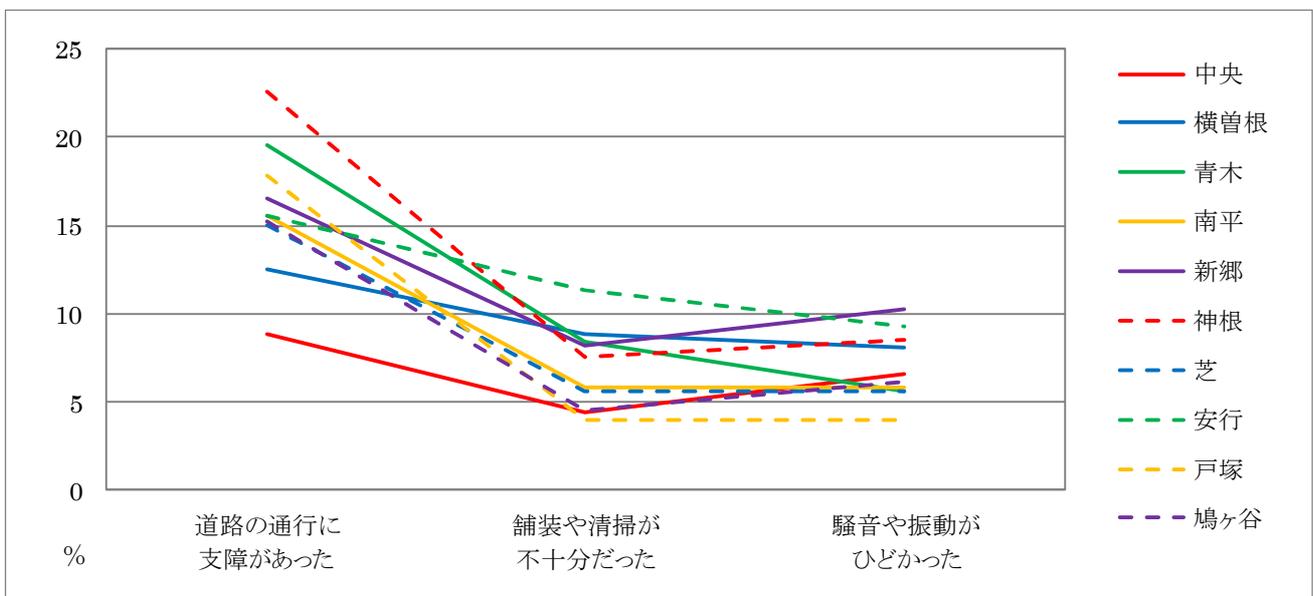
上下水道局の工事で不満に思ったことは、「道路の通行に支障があった」が 15.8%で最も多く、「舗装や清掃が不十分だった」(7.1%)、「騒音や振動がひどかった」(7.1%) となっていますが、「特にない」が 64.7%で多くを占めました。

地域別にみると、「道路の通行に支障があった」は神根で、「舗装や清掃が不十分だった」は安行で、「騒音や振動がひどかった」は新郷、安行で、それぞれ多くなっています。

●上下水道局の工事で不満に思ったこと(計 1,017)



●上下水道局の工事で不満に思ったこと(地域別、主要 3 項目)

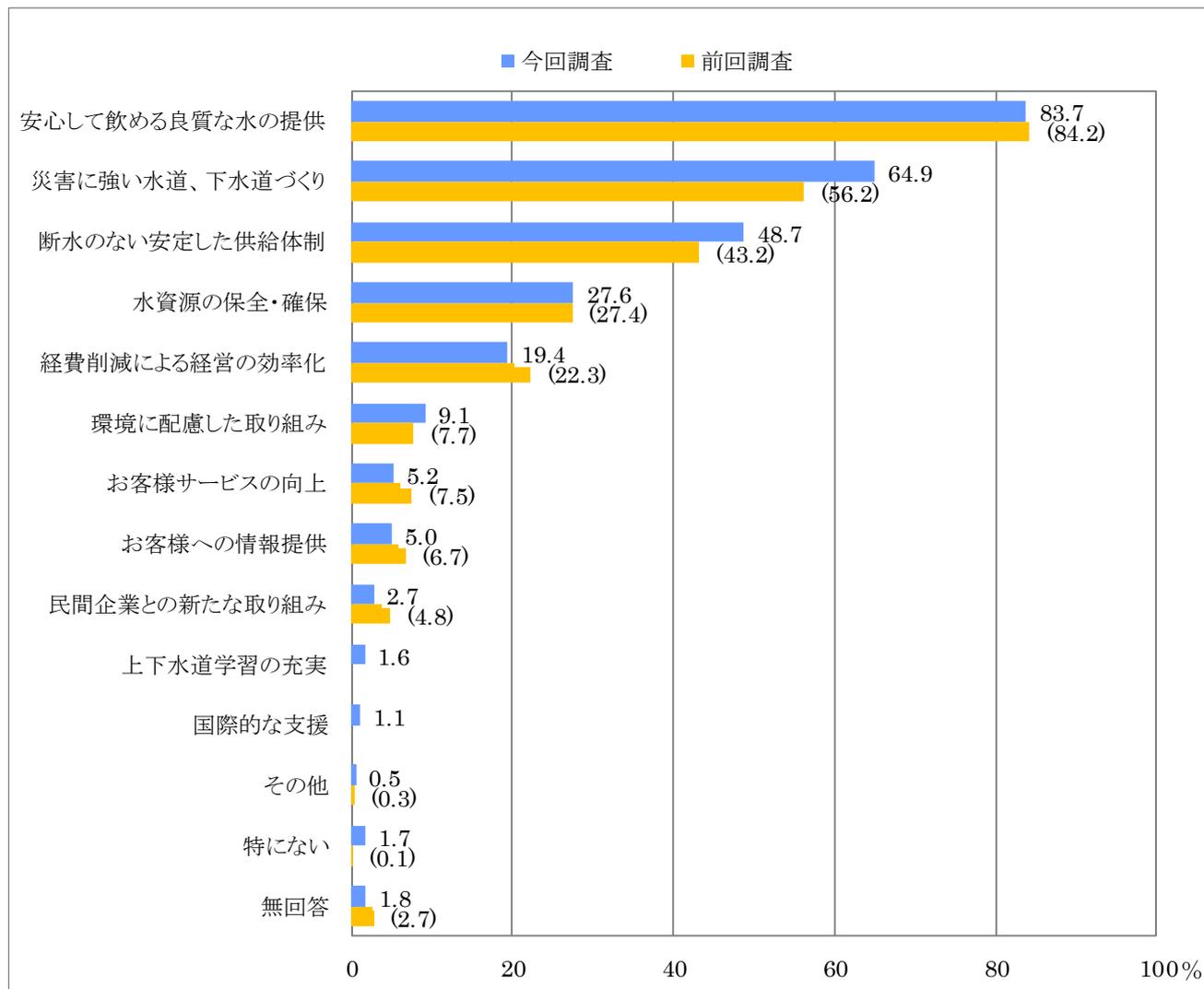


質問 2 2 今後の上下水道局の取り組みにおいて重視すべきこと

今後の上下水道局の取り組みにおいて重視すべきことは、「安心して飲める良質な水の提供」が 83.7% で最も多く、次いで「災害に強い水道、下水道づくり」(64.9%)、「断水のない安定した供給体制」(48.7%)、「水資源の保全・確保」(27.6%)、「経費削減による経営の効率化」(19.4%) となっています。

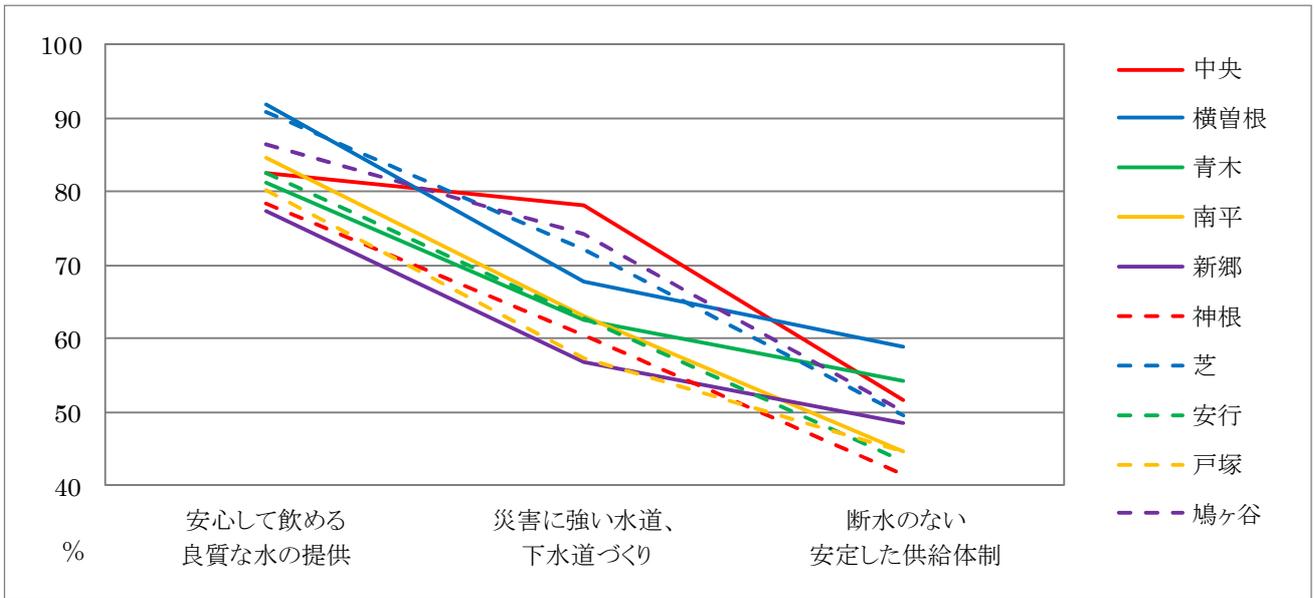
地域別にみると、どの地域も上位 3 項目の順は同じで、「安心して飲める良質な水の提供」は横曽根、芝で、「災害に強い水道、下水道づくり」は中央、鳩ヶ谷、芝で、「断水のない安定した供給体制」は横曽根、青木で、それぞれ多くなっています。

●今後の上下水道局の取り組みにおいて重視すべきこと(計 1,017)



*前回調査では下水道事業に関する項目は含まれておりません。

●今後の上下水道局の取り組みにおいて重視すべきこと(地域別、主要3項目)



9 自由回答

質問 2 3 上下水道局へのご意見・ご要望

上下水道局へのご意見・ご要望として、245 名から自由回答がありました。分野別のおもな内容は下記のとおりです。

●上下水道局へのご意見・ご要望—自由回答の分野別件数(1回答で複数分野があります)

ご意見・ご要望	件数	内容（抜粋）
水道料金について	68	<ul style="list-style-type: none"> ・急激な値上げに反対である。 ・新型コロナウイルスの影響が収束しない中での料金改定に反対である。 ・料金改定について納得のいく説明が必要。 ・川口市の水道料金は高い。 ・安心して飲める水を少しでも安く提供してほしい。 ・クレジットカード払いにも割引がほしい。 ・料金改定は、段階的に行うべき。電気料金のようにフレキシブルに料金が変わるような料金体系を検討してほしい。 ・節水しても基本料金が高く、料金に反映されにくい。 ・料金改定は致し方ないが、引き続き経費削減に努めてほしい。 ・水道料金が上がっても、老朽化した施設を更新して、水道を安心して使えるようにしてほしい。 ・諸外国に比べて日本の水道事業は高水準で料金も安い。水の安定供給には使用する側の負担増があって当然。 など
安全・安心な水の供給について	25	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な水の供給をこれからもお願いしたい。 ・水質に対しては常に最大のこだわりを持ってほしい。 ・水質が向上していることを感じ、感謝している。 ・水道水が美味しいので、水を買わなくて済んでいる。 ・浄水器を10年以上使用しているが、水質が良くなっているのか、取替時期が長くなっている。 ・東京都の水は飲んで安心と聞くが、埼玉県の水はどうなのか。飲料水として使えるのか不安。 など
災害に強い水道づくりについて	22	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に断水のない、強靱な水道を。 ・地震や台風、集中豪雨など自然災害の時に被害が最小限に済むよう対策をお願いしたい。 ・集中豪雨が多くなった昨今、雨水の排水能力が心配。 ・川口市の多くは低地帯であり、冠水の危険性があるため、下水道事業での対策をしっかりとお願いしたい。 ・下水道が整備されていない地区に住んでいる。一日も早く整備をお願いしたい。 ・大きな地震、水害が発生し、今後も発生懸念がある中、災害に強い上下水道インフラの整備を望む。 など

ご意見・ご要望	件数	内容（抜粋）
広報活動について	21	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者はホームページの見方がわからない（見ることができない）。各家庭に情報を伝えてほしい。 ・もっと沢山のの人たちに水の大切さがわかってもらえるような広報活動を。 ・雨水の再利用について情報がほしい。 ・悪質業者に高額請求される水のトラブルのケースがあるとテレビで見た。もっと広報誌などで注意喚起してほしい。 ・上下水道広報誌「みずぐるま」の内容を充実させてほしい。 ・この調査をきっかけに、上下水道広報誌「みずぐるま」を読んでみようと思った。 など
経営の改善について	20	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道事業の民営化に反対。 ・より一層の経営努力を。 ・水道料金が上がれば家計は苦しくなるが、料金を上げずに安全や安心が守れなくなるのも困る。うまくやってほしい。 ・国、県、市町村で計画的に効率よく事業を進められないか、もっと考えてほしい。 ・電気、ガス、電話の事業者とも協力して事業を進めてほしい。 ・人口 60 万人という規模の大きい市なので、他の市町村の手本となってほしい。 など
水道工事について	14	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ場所を何度も工事するのはなぜか、集中してできないのか。また、工事を迅速に実施してほしい。 ・コストがかからない工事手法の検討を。 ・工事の後、側溝に土などがたまるので、側溝の清掃もお願いしたい。 ・宅地内の給水管の更新はどうしたらいいのか（市で行ってほしい）。 ・舗装したばかりの道路を掘り起こすなど、工事に無駄がないか。 ・工事車両の路上駐車はやめてほしい、休憩中の路上喫煙も迷惑。 など
下水道の整備について	14	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道未整備の地域がまだまだ多いと思う。早く市内全域へ整備してほしい。 ・浄化槽を使用しているため下水道に接続したいが、工事ができないと言われた。 ・雨天時、降り始めなど、下水の消毒臭の様な刺激臭がすることが多い。 など
水道管の更新について	12	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道局から送られる水が安全であっても、末端の水道管劣化による各家の蛇口からの水質が不安。 ・水道管が破裂する前に交換してほしい。古い所から早急をお願いしたい。 ・検針時、「水道量が前回より急に増えている」との指摘がありとても助かった。古くなった水道管や施設等の更新は大変な資金が必要なことは聞いている。国からの公費支出は絶対必要であると思う。 など

